



平成 30 年度

大阪大学

知のジムナスティックス (高度教養プログラム)

— 3 年次以上の学部学生及び大学院学生対象 —



はじめに

昨今、社会はますます複雑になり、一分野の専門知識だけでは対応しきれなくなってきました。社会に出てから、学生時代にもう少し他の分野について学んでおけばよかったという後悔や、意外と全く関係のなさそうな分野の考え方によって問題のブレイクスルーを得るといった状況が増えてくるものです。そう考えると、せっかく色々な学部・研究科・センターがある総合大学に在籍しているのに、自分の専門分野しか学ばないのは、もったいないと思いませんか。

本学では、平成 23 年度より、【知のジムナスティックス（高度教養プログラム）】と称し、各学部・研究科・センターから、「**社会に出るにあたり自分の専門分野を問わず必要となるような内容を含む科目**」や、「**他学部・他研究科の学生が履修することが推奨される科目**」を選出し、プログラム科目としています。科目一覧を参照して、自分の興味のある分野の専門的な授業を受けてみてはいかがでしょうか。単に知識を得るためには、入門的な共通教育科目を受けてみるという手段もありますが、この機会を利用して各部局の専門的な内容を学び、自分とは異なる専門知識を持つ学生と交流してみることをおすすめします。

冊子内に詳述しますが、このプログラムには修了要件などは設定していません。どれを取らなければならない、というような肩肘を張らずに、自分が興味のある科目を、自由に履修してください。

本学では、学際融合教育（学部・研究科の枠にとらわれない教育）として、「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」以外に、「副専攻プログラム」・「高度副プログラム」を提供しています。

プログラム	知のジムナスティックス (高度教養プログラム) [科目履修]	大学院副専攻プログラム [プログラム履修]	大学院等高度副プログラム [プログラム履修]
目的及び概要	他の専門分野の科目及び共通的に学ぶべき科目を履修することにより、社会人として必要なつよさ・しなやかさ・バランス感覚を兼ね備えた知性を養う。 履修内容は、自分の所属部局以外の科目の中から、個人の必要性に応じ、自分でコーディネートする。	自分の専攻に関連する、あるいは専攻以外の分野内容を、主専攻に準ずるレベルで体系的に学ぶことにより、複眼的視野と学際的・俯瞰的な視点を獲得するプログラム。 プログラムは複数あり、そのルールに則って履修する。高度副プログラムより修了要件単位数が多い。	自分の専攻に関連する、あるいはそれ以外の分野の内容を体系的に学ぶことにより、複眼的視野と学際的・俯瞰的な視点を獲得するプログラム。 プログラムは複数あり、そのルールに則って履修する。副専攻プログラムより修了要件単位数が少ない。
対 象	● 全学3年次以上の学部学生 ● 大学院学生 (科目等履修生・特別聴講学生を除く)	● 大学院学生 (科目等履修生・特別聴講学生を除く)	・ 大学院学生 ・ 一部プログラムは6年制課程の学部（医学部・歯学部・薬学部）の5、6年次学生 (科目等履修生・特別聴講学生を除く)
提 供 数 (平成30年度)	374科目	13プログラム	38プログラム
履 修 者 数 (平成29年度)	344名（学部学生） 868名（大学院学生）	111名	499名
プログラム 開 始 申 請	不要（科目履修登録のみ）	必要（プログラム申請と科目履修登録）	必要（プログラム申請と科目履修登録）
要 件 単 位		あり（14単位以上） *14単位以上の一貫した専門性をもつ内容から構成されており、所属する研究科の修了要件単位と7単位までは重なっていてもかまわない。	あり（8単位以上） *8単位以上のまとまった内容から構成されており、所属する研究科・学部の修了・卒業要件単位と4単位までは重なっていてもかまわない。
修了認定証	発行なし（成績証明書に「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目である旨を記載）	発行あり (総長とプログラム実施部局長との連名による発行)	発行あり (総長とプログラム実施部局長との連名による発行)
専攻の修了と プログラム との 関 係	研究科 修了要件単位 (30単位*) 知のジムナスティックス (高度教養プログラム) 科目 (修了要件外単位) ↓ 専攻の修了 * 博士前期課程の場合	研究科 修了要件単位 (30単位*) 当該プログラムの ための単位 ↔ 7単位以上 副専攻プログラム 修了要件単位 (14単位以上) ↓ 専攻の修了 + 副専攻プログラム 修了 * 博士前期課程の場合	研究科 修了要件単位 (30単位*) 当該プログラムの ための単位 ↔ 4単位以上 高度副プログラム 修了要件単位 (8単位以上) ↓ 専攻の修了 + 高度副プログラム 修了 * 博士前期課程の場合

なお、「副専攻プログラム」、「高度副プログラム」の構成科目の中には、同時に「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」として全学に提供している科目もあります。

CONTENTS

知のジムナスティックス（高度教養プログラム）について

1. 趣旨	1
2. 履修対象者	1
3. プログラムの構成及び修得単位の認定について	1
4. 科目選択の指針	2
5. プログラムの申請及び科目の履修手続について	2
6. プログラム科目のシラバスについて	2
7. プログラム科目の成績について	2
8. 休講等の通知について	2

KOANにおけるプログラム科目の取扱について

3

手続に関するまとめ

4

平成30年度知のジムナスティックス（高度教養プログラム）授業科目一覧

「3年次以上の学部学生」及び「大学院学生」対象科目	5
「大学院学生」対象科目	13

よくある質問とその回答

25

知のジムナスティックス (高度教養プログラム) について

1 趣 旨

大阪大学では、平成 23 年度から、「一定の専門知識を身につけ、(職業人あるいは研究者として) 社会にまもなく出て行く学生に対して、専門教育以外に必要な知識や能力を与える教育」として、**全学の3年次以上の学部学生及び大学院学生を対象**とした、「知のジムナスティックス (高度教養プログラム)」を提供しています。

知のジムナスティックスとは

“ジムナスティックス”には体操の意味だけではなく、鍛錬という意味があります。

このプログラムは、“社会人”として必要な“つよさ・しなやかさ・バランス感覚”を兼ね備えた知性の涵養を目的としています。他の専門分野と切り結ぶことによって、今もっている自分の専門知を、もう一歩社会につながる知に発展させましょう。

せっかく阪大で学ぶのだから

大阪大学は多数の学部・研究科と研究所やセンターからなる総合大学です。提供している教育プログラムや科目も多様かつ膨大です。せっかく大阪大学で学ぶのですから、この教育環境を最大限利用してみませんか。

学部・研究科を超えた学びを

本プログラムで重視しているのは、学部・研究科を超えた学びです。一つには、自らの専門とは異なる知の領域に触れること、もう一つは、学部・研究科の異なる学生の協働による学びを経験することです。

全学の開講科目から精選

本プログラムは、大阪大学で開講されている科目から、高度教養教育にふさわしい科目を精選して提供するものです。総合大学ならではの多様な科目から、学生一人ひとりが“つよさ・しなやかさ・バランス感覚”を兼ね備えた知性の涵養のための**プログラムを自主的に**設計してください。

2 履修対象者

3年次以上の学部学生及び大学院学生 (科目等履修生・特別聴講学生を除く)

3 プログラムの構成及び修得単位の認定について

- 知のジムナスティックス (高度教養プログラム) 授業科目一覧のうち、原則として**所属している学部・研究科以外の部局が開講している科目を履修した場合に、プログラムの単位として認定**し、成績証明書に「知のジムナスティックス (高度教養プログラム)」科目である旨記載します。
- **プログラムには修了に必要な単位数の設定はありません**。知のジムナスティックス (高度教養プログラム) 授業科目一覧の中から一人ひとりの希望や計画にしたがって自由に科目を選択し、独自のプログラムを設計してください。
- 高度教養となる科目の多くは他学部・研究科の科目ですので、**修得した単位は原則卒業・修了要件ではありません**が、学部・研究科によっては、その単位を卒業・修了要件単位として算入できる場合があります。詳細な条件・手続は、所属する学部・研究科の教務担当係で確認してください。

4 科目選択の指針

科目内容に応じて、以下の四種類のキーワードが付してあります。

一つの科目に複数のキーワードが付してある場合もあります。履修する科目を選択する際に利用してください。

▶「世界を舞台に活動する」 ▶キーワード:「世界」

グローバル化した社会のなかで、自らの専門性を活かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

▶「異分野の融合を社会に演出する」 ▶キーワード:「異分野」

学問分野の境目が流動化した現代において、分野を超えた知の交流を実現するために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

▶「成熟した市民社会を創る」 ▶キーワード:「成熟」

少数の専門家がすべてを決定する社会から、多様な背景をもつ市民によって運営される社会に移行しつつある現代において、自らの専門性を市民とともに生かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

▶「タフな知性で社会を輝かせる」 ▶キーワード:「タフ」

多様な背景をもつ人々と協働することが求められる社会において、異なる知の領域に触れ、驚き、学ぶことを通じて自らの専門性の意義を問い直すための科目です。

5 プログラムの申請及び科目の履修手続について

- プログラム開始のための申請手続は必要ありません。
- 「受講科目一覧」に掲載されている科目を履修登録するだけで知のジムナスティックス（高度教養プログラム）を開始できます。
- **所属する学部・研究科で設定している各学期の履修登録期間と、受講希望科目の開講学部・研究科の履修登録期間が重なる期間に、履修登録を行ってください。**
- **人数制限がある科目については、必ず登録前に授業担当教員から履修の許可を得てください。**
- 「注意事項等」には履修条件等も記載されていますので、よく読んでください。

6 プログラム科目のシラバスについて

プログラム科目のシラバスは、KOANのシラバスを検索又は科目の開講部局が発行する冊子等を参照してください。

7 プログラム科目の成績について

プログラムとして修得した単位の科目については、3. に記載のとおり、成績証明書等に当該科目が「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目であることを記載します。

8 休講等の通知について

授業の休講やプログラムに関する通知等の連絡は、原則、KOAN掲示板により行います。

KOANにおける プログラム科目の取扱いについて

「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目は、KOANからも検索することができます。

時間割コードを入力する画面から、時間割コードを検索する画面へ移ることができます。

検索する科目のカテゴリに「知のジムナスティックス科目」があり、プログラム科目を検索することもできます。

科目を検索すると、検索結果の「高度教養」列に「知のジムナスティックス科目」である科目に○が表示されます。

「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」に該当する科目であれば、履修画面には以下のように高度教養のアイコン（)が表示され、単位を修得すれば、成績証明書には「科目名＋＜高度教養＞」と表示されるようになります。

*読替科目等、一部の科目において＜高度教養＞と表示されない場合がありますので、所属の教務担当係にお申し出下さい。

20C201
アート・メディア史講義
三宅 祥雄
文法経4階41講



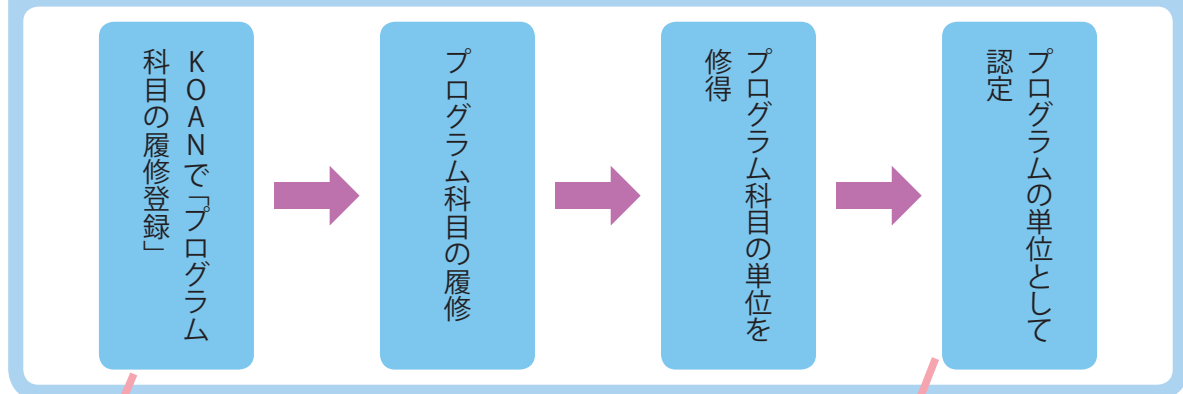
科 目 名	単位	修得年度
■必修		
保健統計学	2	2018
健康相談論	2	2018
■他学科・専攻・教免等科目		
医療科学概論	2	2018
総合科目Ⅲ＜高度教養＞	2	2018
アート・メディア史講義＜高度教養＞	2	2018

手続に関するまとめ

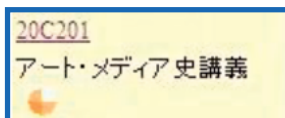
知のジムナスティックス（高度教養プログラム）は……

- プログラム科目の履修登録により開始できます。
- プログラムに修了要件はなく、各自の興味・関心で履修を計画していくものです。

プログラムの開始～単位認定までの流れ



履修画面



成績証明書

科 目 名	単位	修得年 度
■ 必修		
保健統計学	2	2018
健康相談論	2	2018
■ 他学科・専攻・教免等科目		
医療科学概論	2	2018
総合科目Ⅲ<高度教養>	2	2018
アート・メディア史講義<高度教養>	2	2018

履修登録前のチェック項目

- ☐ KOANでこの冊子の一覧表に掲載されている科目を履修登録すること。
(KOANの時間割コード検索機能でもプログラム科目を検索することができます。)
- ☐ 履修登録は、所属している学部・研究科の履修登録期間と、受講希望科目の開講学部・研究科の履修登録期間が重なる期間に行うこと。
- ☐ 授業科目一覧に人数制限が記載されている場合は、必ず登録前に授業担当教員から履修の許可を得て履修登録を行うこと。
- ☐ 注意事項等に履修条件等が記載されているので、よく読むこと。
- ☐ 科目の内容は、別途KOANや部局が発行するシラバスを確認すること。

知のジムナスティックス (高度教養プログラム) 授業科目一覧

Key word

▶「世界」
▶「世界を舞台に活動する」

▶「異分野」
▶「異分野の融合を社会に演出する」

▶「成熟」
▶「成熟した市民社会を創る」

▶「タフ」
▶「タフな知性で社会を輝かせる」

グローバル化した社会のなかで、自らの専門性を活かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

学問分野の境目が流動化した現代において、分野を超えた知の交流を実現するために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

少数の専門家がすべてを決定する社会から、多様な背景をもつ市民によって運営される社会に移行しつつある現代において、自らの専門性を市民とともに生かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

「3 年次以上の学部学生」及び「大学院学生」対象科目

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
1	001051	科学史・科学論講義		2	春～夏	火・5	○ ○	20名程度	分野を超えた「知識」のあり方について考えます。授業はディスカッションを主軸に進めます。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
2	002212	歴史学方法論講義 (歴史研究の理論と方法)		2	春～夏	水・2	○ ○	20名程度	世界史の全体像を概観したい学生には共通教育「市民のための世界史」を、歴史学という学問を概観したい学生にはこの科目「歴史学のアプローチ」を勧めます。	
3	002431	歴史学方法論講義 (歴史学のアプローチA)		2	春～夏	木・3	○ ○	10名程度	日本史、東洋史、西洋史、日本学、経済史、国際政治学、東アジア地域研究などの既成の区分を越え新しい歴史学方法論を考える。将来、大学院に進学して、さらに研究を続けようという意欲を有する学部生(3・4年生)のために、高度な大学院の入門講義を開講する試みである。	
4	008004	人文学と社会講義		2	春～夏	木・1	○ ○	15名程度	人文学と社会の関係様々を視点から考察し、この学の社会的な意義や応用を検討します。講義は文学研究科文化創成論専攻の教員によるリレー形式で実施されます。毎回の授業で小テストが行われるか、または、後日提出する小レポートが課せられます。	
5	001050	科学史・科学論講義	文学部	2	秋～冬	水・5	○ ○	20名程度	技術とはなにかについて考えます。授業はディスカッションを主軸に進めます。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
6	002432	歴史学方法論講義 (歴史学のアプローチB)		2	秋～冬	木・3	○ ○	10名程度	日本史、東洋史、西洋史、日本学、経済史、国際政治学、東アジア地域研究などの既成の区分を越え新しい歴史学方法論を考える。将来、大学院に進学して、さらに研究を続けようという意欲を有する学部生(3・4年生)のために、高度な大学院の入門講義を開講する試みである。	
7	004239	国語機能論講義		2	秋～冬	木・4	○ ○	10名程度	あなたは手話についてどのくらい知っていますか。日本で、「手話」という名称でマスメディアに取り上げられるものには、大きく分けて「手指言語(日本語対心手話)」と「日本手話」の2種類があり、後者は音声日本語とまったく同等な「自然言語」であることが認められています。この講義では、日本手話にまつわるさまざまな話題を、多彩な講師を招いて紹介していきます。受講希望者多数の場合は選抜を行うことがありますのでご注意ください。	
8	001044	現代哲学演習		2	秋～冬	火・4	○ ○	10名程度	科学知・専門知のあり方について、「無知」をキーワードに考えます。授業では英語で書かれた文献を購読します。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
9	020141	知的財産法1		2	春～夏	木・3	○ ○	30名程度	知的財産法、特に特許法に関心があれば、法律のことを全く知らない方でも、歓迎します。	・議論を構築する能力
10	020295	特別講義 (インターネット技術と法規制)	法学部	2	秋～冬	水・4	○ ○	5名程度		・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力
11	020278	特別講義 (実践グローバルリーダーシップ)		2	春～夏	水・6	○ ○		グローバルな公共的問題、企業活動にかかわる公共的問題への理解を深めつつ、ゲストとの対話を通じてこれらの課題解決に必要な考え方や方法を身につける	(1)グローバルな課題への理解を深めることができる。 (2)リーダーシップに必要とされる考え方や方法およびスキルを身につけることができる。

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期			曜日 時限	*キーワード			履修の 人数制限	科目選択のための参考情報	
					春	夏	秋	冬	世界	異分野	成熟		担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
12	020286	特別講義 (リーダーシップデザイン)	法学部	2	春～夏			火・3	○	○	○		グループワークを通じてアイデアの出し方からまとめ方までを学ぶ	(1) グローバルな課題への理解を深めること ができる。 (2) リーダーシップに必要とされる考え方と 方法およびスキルを身につけることがで きる。
13	020624	特別講義 (ネゴシエーション基礎)		2	春～夏			集中	○	○	○		合意形成の実践的練習を行う	(1) グローバルな課題への理解を深めること ができる。 (2) リーダーシップに必要とされる考え方と 方法およびスキルを身につけることがで きる。
14	020277	特別講義 (リーダーシップを考える)		2			秋～冬	水・6	○	○	○		考え方と方法・スキルを応用して授業創造に取り組み、課外教育プログラムでは イノベーション創出を含むさらなる応用に取り組む	(1) グローバルな課題への理解を深めること ができる。 (2) リーダーシップに必要とされる考え方と 方法およびスキルを身につけることがで きる。
15	020661	特別講義 (経営者と語るリーダーシップ)		2			秋～冬	木・4	○	○	○		企業活動にかかわる公共的問題への理解を深めつつ、ゲストとの対話を通じてこ れらの課題解決に必要な考え方と方法を身につける	(1) グローバルな課題への理解を深めること ができる。 (2) リーダーシップに必要とされる考え方と 方法およびスキルを身につけることがで きる。
16	026202	ネゴシエーション		2			秋～冬	集中	○	○	○		合意形成の実践的練習を行う	(1) グローバルな課題への理解を深めること ができる。 (2) リーダーシップに必要とされる考え方と 方法およびスキルを身につけることがで きる。
17	留意事項 等参照	英語(語学) a (豊)	外国語学部	1	春～夏			－	○			若干名	*兼修語学 (中級)	・外国語運用能力
18	留意事項 等参照	英語(文化) a (豊)		1	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
19	留意事項 等参照	英語(文学) a (豊)		1	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
20	留意事項 等参照	英語(コミュニケーション) a (豊)		1	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
21	留意事項 等参照	英語会話 I a (豊)		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
22	留意事項 等参照	英語会話 II a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
23	留意事項 等参照	英語学 I a (豊)		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
24	留意事項 等参照	英語学 II a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
25	留意事項 等参照	英語作文 I a (豊)		2	春～夏			－	○			若干名	*兼修語学 (上級)	・外国語運用能力
26	留意事項 等参照	英語作文 II a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
27	留意事項 等参照	英文学 I a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
28	留意事項 等参照	英文学 II a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
29	留意事項 等参照	英米文化 III a (豊)		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
30	留意事項 等参照	英米文化 IV a (豊)		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力
31	101350	英米文化 V a		2	春～夏			金・4	○			若干名		・外国語運用能力
32	101352	英米文化 VI a		2	春～夏				○			若干名		・外国語運用能力
33	留意事項 等参照	英米文化 I a		2	春～夏			－	○			若干名		・外国語運用能力

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
34	留意事項 等参照	英米文化Ⅱa	外国語学部	2	春～夏	—	○	若干名	*兼修語学 (上級)	・外国語運用能力
35	留意事項 等参照	英語 (語学) b (豊)		1	秋～冬	—	○	若干名	*兼修語学 (中級)	・外国語運用能力
36	留意事項 等参照	英語 (文化) b (豊)		1	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
37	留意事項 等参照	英語 (文学) b (豊)		1	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
38	留意事項 等参照	英語 (コミュニケーション) b (豊)		1	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
39	留意事項 等参照	英語会話Ⅰb (豊)		2	秋～冬	—	○	若干名	・外国語学部生 (兼修語学として) を優先し、続いて学部3、4 年次生を優先する。(2年次生、大学院学生も受講可) ※履修条件としてTOEFL iTPなどの点数(スコア提出)を要 するため、詳細は外国語学部窓口またはKOANの掲示で確 認すること。 ・複数のクラスが開講されていますので、授業内容、曜日・時 限、担当教員については、シラバスで確認してください。 ・(豊)と記載されている科目は、豊中キャンパスで開講され るクラスもあります。	・外国語運用能力
40	留意事項 等参照	英語会話Ⅱb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
41	留意事項 等参照	英語学Ⅰb (豊)		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
42	留意事項 等参照	英語学Ⅱb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
43	留意事項 等参照	英語作文Ⅰb (豊)		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
44	留意事項 等参照	英語作文Ⅱb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
45	留意事項 等参照	英文学Ⅰb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
46	留意事項 等参照	英文学Ⅱb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
47	留意事項 等参照	英米文化Ⅲb (豊)		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
48	留意事項 等参照	英米文化Ⅳb (豊)		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
49	101351	英米文化Ⅴb		2	秋～冬	金・4	○	若干名		・外国語運用能力
50	101353	英米文化Ⅵb		2	秋～冬	月・5	○	若干名		・外国語運用能力
51	留意事項 等参照	英米文化Ⅰb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
52	留意事項 等参照	英米文化Ⅱb		2	秋～冬	—	○	若干名		・外国語運用能力
53	142142	医用工学	医学部保健学科	1	秋～冬	火・3	○	5名程度	講義内容の理解には、基本的な解剖学、生理学などの医学の知識が必要です。	
54	142409	精神保健学		1	冬	火・2	○	3名程度		
55	142428	医療情報学		1	秋	火・3	○	2名程度		
56	084030	総合科目Ⅲ	工学部	2	春～夏	木・5	○	講義室の 定員まで		
57	381101	対話術A (哲学対話入門)	COデザインセンター	2	春	月・ 4・5	○		難しい本を読むことだけが哲学ではありません。日々の些細な出来事や感じ方 を、他人とともに丁寧にことばにするところから、哲学の探究をやってみましょう。 話す・聴く・問う・考える、といろいろく基本的な営みを他の受講者とともに積み重 ね、同じことを繰り返しながら、自分というものが変わっていくことをじっくり味 わってください。	・議論とは異った、ともに考えとともに探究する 態度

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟	タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
58	381103	対話術C (演劇コミュニケーション)		2	春～夏	木・3	○ ○ ○ ○	○		・いわゆる「演劇」をやらせるわけではないので、気軽に参加してください。日頃触れる機会のない舞台芸術にも、2500年の歴史があることがわかります。その一端に触れて、「表現」や「コミュニケーション」の問題の本質に迫る体験をしてみてください。 ・並行して、アートマネジメントの基礎的な講義も行います。文化政策などに関心のある方たちもぜひ受講してください	・芸術や感性について論理的に語る能力や分析力。 ・人生の不条理と向き合う力。 ・芸術文化を政策として構想する能力。 ・異なる文化的な背景を持った人との合意形成能力。 ・文化による社会包摂や観光文化政策など新しい概念についてのリテラシー
59	381108	対話術E (地域対話法)		2	夏	集中		○		まちづくり、行政の現場、ビジネスの場面で多様な対話課題を構える社会人と一緒に、まちづくり対話の実践と実践を学ぶので、公務員・コンサルタント・教員志望の方のみならず、「公」的な議論に関心を持つ高度職業人をめざす皆さんの受講を歓迎します。	・調査研究リテラシー ・プレゼンテーションの技能 ・市民とのコミュニケーション能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
60	381109	対話術F (大人のための知の理論＝TOK)		2	夏	火・6-7		○		・人文社会科学のみならず理工学や医歯薬保健など、どのような学生でも歓迎です。知の理論＝TOKに興味ある人は、授業内における自由討論のなかで、教師や院生同僚と楽しく話すことができます。 ・日本語と英語の基本的な読み書き能力のほかにディスカッション能力が必要で	・知の理論の基礎 ・高度教養教育の根幹的な知の技 ・真の意味での高度汎用性のある知性の当夜
61	381201	科学技術コミュニケーション入門A		1	春	火・5		○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を歓迎します（「科学技術」の問題へ人文社会科学のアプローチが重要です）。 ・科学技術コミュニケーションの基本は、「異分野間」のコミュニケーションです。異なる学部・研究科の思考に接してみないと考える学生の学生の受講を歓迎します。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力
62	381208	リテラシーA (多文化サポータ理論1)		2	春～夏	火・5	○ ○			・ともに多言語多文化の有為な人材を目指す！ ・母語能力も学習外国語運用能力も interactive competence を身に付けることを心掛けましょう。方法論は授業中に解説します。それなくして今流行りのアクティヴ・ラーニングは有り得ないです。また大学設置基準に則して予復習時間を確保しましょう。この二つを実現するだけで効果は確実に「見える化」します。	グローバル社会に対応する外国語学習のInteractive Competence を身に付けるノウハウを多面的に伝授します。この能力を身に付けてtransnationalな舞台に立ち！
63	381211	リテラシーC (地域再生のための情報活用法)		2	春～夏	集中		○		受講生の皆さんには、地域の中に生きる市民として、あるいは地域に向き合う（学）部や大学院で学んでいる専門的知識を有する汎用力を持った専門的職業人として将来にこの講義をどう生かすのかを常に考えながら受講していただけたらと幸いです。	・調査研究リテラシー ・プレゼンテーションの技能 ・市民とのコミュニケーション能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
64	381212	リテラシーD (映画で学ぶ社会の見方)	COデザインセンター	2	春～夏	隔週 金・4-5		○		・文系理系の区別は問いません。 ・映画を観た後に、解説と意見交換やディスカッションを行います。積極的な発言を期待しています。 ・映画監督などのゲストスピーカーの招へいを予定しています。 ・一回三時間の授業になります。長丁場になることをご確認ください。	・登場人物や出来事の背景にある社会の在り方に関心を払い、それを捉えることができる。 ・見たりを通して自分の考えを述べたり、質問したり、自分の意見を良い方向に修正したりすることができる。 ・社会のなかで何が問題なのかを発見することができる。
65	381213	リテラシーE (地球市民の健康管理1)		2	春～夏	火・4	○ ○			・ともに多言語多文化の有為な人材を目指す！ ・学習外国語運用能力の interactive competence を身に付けることを心掛けましょう。また大学設置基準に則して予復習時間を確保しましょう。これを実現するだけで効果は確実に「見える化」します。	ポルトガル語の学習法を通じて、グローバル社会に対応する Global Public Health Care に関する、外国語学習のInteractive Competence を身に付けるノウハウを具体的に伝授します。この能力を身に付けたあなたを、日本だけでなく、グローバル社会は期待しています。
66	381215	リテラシーG (人文社会系のための研究倫理入門)		2	春	火・6-7	○ ○			・人文社会科学のみならず理工学や医歯薬保健など、どのような学生でも歓迎です。研究倫理に興味ある人は、授業内における自由討論のなかで、教師や院生同僚と楽しく話すことができます。 ・日本語と英語の基本的な読み書き能力のほかにディスカッション能力が必要です。	・倫理学の基礎 ・研究倫理 ・真の意味での研究リテラシー
67	381216	特殊講義 (ソーシャライゼーション：コンセプト編)		1	春	火・6	○ ○ ○ ○			・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・社会課題の発見・解決方法に関心があり、チームで課題解決に向けたプロジェクトに取り組む意欲を持つ学生を歓迎します。 ・本講義後は、科目「ソーシャライゼーションB」、「ソーシャライゼーションC」の履修をおすすめします。	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・市民とのコミュニケーション能力
68	381217	特殊講義 (Design for Social Innovation: Exploring Concepts and Approaches)		1	春	火・5	○ ○ ○ ○			* We expect and welcome students from various fields, who are interested in discovering and solving social problems and who are motivated to work on the project to solve the problem with the team. * Recommended to take courses "Design for Social Innovation B" and "C." * Lecture will be given in English	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・外国語運用能力
69	381218	特別講義 (国際開発政策・評価論)		2	春	水・2-3	○ ○ ○ ○			・数理的思考能力 (統計スキル・データ処理) ・調査研究リテラシー (情報収集能力・情報技術活用・学習方法の学習) ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力	・調査研究リテラシー (情報収集能力・情報技術活用・学習方法の学習) ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
70	381301	身体表現術		1	夏	集中		○		この授業は思考という行為を頭脳だけでなく身体を通して、主にコンテンポラリーダンスの手法を通して考察し、新たな身体性、身体の在り方を他者との関わりの中から模索します。ダンス経験の有無は特に関係ありませんし、特定のダンステクニックを身につける授業でもありません。	・表現のなかに創造性を見いだす能力

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 分野 成熟	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
71	381303	感性表現術B (創作ワークショップ／音楽)		1	夏	集中	○		創作は、芸術表現に限らず、社会生活のすべてにおいて不可欠な活動の一つです。 創作活動において、得意不得意は大きな壁ではありません。各人の「得意なこと」を互いに発見し、ひとつ(つた)にすることは、学術研究やその他の社会生活での協働作業に役立つことです。音楽の好き嫌い、楽器ができるできないは一切関係ありません。どなたでもチャレンジしてください。	・表現のなかに創造性を見いだす ・自己と他者のあいだのつながりを感じる
72	381305	感性表現術D (メディアデザイン)		2	春～夏	木・6	○		映像表現の鑑賞と制作を中心に授業は進められますが、映像制作の技術的なノウハウを学ぶことが目的ではありません。専門を問わず、受講者自身が思考の過程を記録し、表現するメディアとして映像をどのように活用するのかわかってくる実践的な授業に取り組めます。自らの表現手法としての映像メディアについて考えたい学生に履修を勧めます。	・表現のなかに創造性を見いだす
73	381307	表現術B (芸術と社会包摂)		2	春～夏	火・4	○		想定外のアートについて知ることができます。アートのほか、コミュニティマネジメント、社会正義、アジアなどに関心のある学生には受講を勧めます。本授業は座学が中心となりますが、可能であれば、秋・冬学期に課外活動的に「実践」に挑戦できればと思っています。最終試験はレポートの提出となりますが、途中で小レポートが課されます。1～2度、授業時間外に現場訪問を行う可能性があります。	・想定外の事態に対して創造的な解決を行う能力 ・既成観念にとらわれず、独創的思考和める能力 ・自己評価能力
74	381308	表現術C (ZINEを発行する)		2	春～夏	金・6	○		・文系理系の区別は問いません。 ・授業で教えることはそれほど多くありません。教員は、学生たちが自分たちで積極的に製作していく過程で、適宜指導やアドバイスをしていく形で関わります。	・チームで活動し、時間や意見を調整することができる。 ・インタビューや質疑応答などの的確で適切な質問をすることができる。 ・他者を何に価値を置くのかを考えることができる。 ・事前準備や下調べの重要性を理解できる。 ・質的研究のエッセンスを身に付けることができる ・積極的な参加を通して議論を構築できる能力
75	381401	訪問術A (質的研究のデザインA)		2	春	月・6-7	○		関連授業として、質的研究を通して制作されたエスノグラフィーを読んでゆく「質的研究のデザインB」という授業があり、また質的研究のあり方について、批判的にとらえなおす「アクションリサーチの理論と実践」があります。	・質的研究のエッセンスを身に付けることができる ・積極的な参加を通して議論を構築できる能力
76	381403	訪問術C (フィールド交流実践論)		2	春	集中	○		・多様な専攻、学部生・院生、社会人とともに風土、道でのコミュニケーションで学び、語り合う。 ・宗教的的自由を確保し、文化システムとしてお話を活用する。学生傷害保険の加入、家族の承諾を必須とする。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・すぐに役に立たないことにも取り組む能力
77	381404	訪問術E (マイノリティ・ワークショップ)		2	夏	月・4-5	○		「マイノリティ」とは特別な他者のことではなく、誰もそこに置かれうえる社会的境遇を指します。さまざまなゲストからの問題提起を受けて話しあってみたり、じっくりと考える場所を「訪問」してみよう。特別な知識、経験は必要ありません。	・他者を理解し、多様性を尊重して対話する
78	381405	訪問術B (体験型ジャーナリズム入門)	COデザインセンター	2	夏	月・6-7	○		・医療薬保健のみならず理工学や文芸社会科学のような学生でも歓迎です。メディアリ・ローチその人や作品に興味ある人は、授業内における自由討論のなかで、教師や院生同僚と楽しく話すことができます。 ・日本語と英語の基本的な読み書き能力が必要です。	・話題作を読み解く能力 ・感性に訴えて表現する能力 ・議論を構築する能力
79	381504	協働術D (まちづくりのマネジメント)		2	春～夏	集中	○		・まちづくりは、文系理系を問わず多様な分野に関わるものです。また講義において様々な視点を持つ学生からの意見交換を行うことで視野を広げることが図られています。多様な分野の学生の受講を歓迎します。 ・日頃からまちに関心を持ち、まちを歩き、なぜ現在の状況となっているのかについて考え、調べることを期待します。	・社会的な課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・様々な現象を分析・評価し、表現する能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
80	381509	協働術A (ネオアクションリサーチの探究)		2	夏	木・6-7	○		関連授業として、質的研究の理論をじっくり学ぶ「質的研究のデザインA」という授業があります。	・アクションリサーチがなんであるかというところとわかる ・積極的な参加を通して議論を構築できる能力 ・プレゼンテーションの技能
81	381510	協働術E (地域再生プロジェクト)		2	春～夏	水・6など	○		・能勢電鉄、自治体、官民連携など、多様な専門家と連携したプログラムです。専門家が現場で語り合い、地域の方に公開して発表会を行います。 ・交通費は自弁です。学生傷害保険に入っていることが必須です。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
82	381512	協働術G (デザインラボ)		2	春～夏	金・3	○		・文系理系を問わず日本の農村や地域交流、学問の実践に関心のある方の受講を期待します。 ・フィールドワークへの参加が必須になります。第一回目のガイダンスには必ず出席するようにしてください。	・空間の社会的責任を果たす能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
83	381513	協働術H (表現の場を作る)		2	春～夏	集中	○		文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 初回の講義は豊中キャンパスで開講しますが、その後は学外で開講します。基本的に金・土・日・祝日に開講日を設定する予定です。 開講日にはできる限り他の予定を入れず、授業に出席してください。	・市民とのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
84	381514	医療協働術 (サイコオンコロギーと健康心理学)		2	春～夏	集中	○		医療分野での実戦経験のある受講者と医療分野の問題に触れてみたいという分野外の受講者が一緒に学ぶことで経験と新たな視点で融合する異分野融合型のワークショップスタイルの授業を行っています。医療領域に関する専門的内容を含む授業ですが、学びへの意欲があれば受講可能です。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・リーダーシップをもって積極的に行動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
85	381515	特殊講義 (ソーシャライズページョン：ソーシャル編)		1	夏	火・6	○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・社会課題の発見・解決方法に関心があり、チームで課題解決に向けたプロジェクトに取り組みむ意欲を持つ学生を歓迎します。 ・本講義後には、科目「ソーシャライズページョンC」の履修をおすすめします。	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力 ・市民とのコミュニケーション能力

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟	タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
86	381516	特殊講義 (Design for Social Innovation: Choosing Tools and Methods)		1	夏	火・5	○ ○ ○ ○			* We expect and welcome students from various fields, who are interested in projecting and solving social problems and who are motivated to work on the project to solve the problem with the team. * Lecture will be given in English	・問題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力 ・外国語運用能力
87	381517	特別講義A (Science, Technology and Society)		1	夏	木・5	○ ○ ○ ○			Students from all disciplinary backgrounds, including natural and social sciences, humanities, engineering and medicine, are welcome. The course will be conducted primarily in English. Interested students with limited English proficiency are encouraged to contact the course instructor prior to the registration.	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・外国語運用能力
88	381703	科学史・科学哲学入門		1	夏	木・4	○ ○ ○ ○			文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・議論を分析・評価する能力
89	381704	科学技術社会論入門		1	春	木・4	○ ○ ○ ○			文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・議論を分析・評価する能力 ・学問の社会的責任を果たす能力
90	381102	対話術B (哲学対話進行法)		2	秋	月・4-5	○ ○ ○ ○			難しい本を読むことだけが哲学ではありません。日々の些細な出来事や感じ方、他人とともに「丁寧に」事にことばにすることから、哲学の探究をやってみよう。この授業は、対話術Aを受講して、じぶん対話をすすめていきたいという方のために開講されます。	・議論とは異なった、ともに考えとともに探究する態度
91	381104	対話術D(対話型まちづくり術)		2	秋～冬	月・2	○ ○ ○ ○			毎回45分の説明と、45分の多様な対話、相互意見交換で授業をすすめます。濃密な対話型授業のため、自然と、自分なりの対話法、聞き方、話し方の基礎が身につきまます。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
92	381105	特別講義C (Moderation for Machizukuri)		1	秋	木・6	○ ○ ○ ○	○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・異なる立場を“つなぐ”ことに関心のある学生のある学生の受講を歓迎します。 ・講義は原則として英語で行います。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・外国語運用能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
93	381106	対話術特論A (当事者との対話)		2	冬	月・4-5	○ ○ ○ ○	○		対話術AとBを受講していることを基本としますが、当事者との対話に真摯に取り組みたい1方の受講を歓迎します。	・議論とは異なった、ともに考えとともに探究する態度 ・ケア的・共感的に考える
94	381107	対話術C (演劇コミュニケーション)	COデザインセンター	2	秋～冬	木・3	○ ○ ○ ○	○		・いわゆる「演劇」をやらせるわけだけではなく、の、気楽に参加してください。日頃触れる機会が少ない舞台芸術にも2500年の隠された歡喜があります。その一端に触れて、「表現」や「コミュニケーション」の問題の本質に迫る体験をしてください。 ・並行して、アートマネジメントの基礎的な講義も行います。文化政策などに関心のある方たちもぜひ受講してください。	・芸術や感性について論理的に語る能力や分析力。 ・人生の不条理と向き合う力。 ・芸術文化を政策として構想する能力。 ・異なる文化的な背景を持った人との合意形成能力。 ・文化による社会包摂や観光文化政策など新しい概念についてのリテラシー
95	381202	科学技術コミュニケーション 入門B		1	冬	火・5	○ ○ ○ ○	○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を歓迎します(「科学技術」の問題へ人文社会科学のアプローチが重要です)。 ・特に、科学技術コミュニケーションに関する「具体的実践」に興味がある学生の受講を歓迎します。 ・なお、本講義は、科学技術コミュニケーション入門Aとあわせて履修することを推奨します。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・学問の社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
96	381205	メディアリテラシー		2	秋～冬	隔週 木・5-6	○ ○ ○ ○			この講義は、毎回、NHKのさまざまな番組に携わる方を迎えて進めますので、放送現場のリアルな声を聞くことができ、放送の今と未来、放送の公共性など幅広く学習できる内容となっています。放送やマスコミに興味を持っている学生、将来、放送業界に携わりたいと考えている学生、映像メディアや公共性について考えたい学生に履修を勧めます。	・市民としての社会的責任を果たす能力
97	381206	ライティングA (クリエイティブ・ライティング)		2	秋～冬	金・5	○ ○ ○ ○			人間は独自の哲学や思想を表現するために、ことばと表現を变形し、文体を創造してききました。論文作成やレポート作成などの「アカデミックライティング」とは別に、多様な文章表現に触れつつ、みずから書くことの面白さを知り、書くことによってひとつひとつのことを経験してみましよう。理系文系を問わず、創造的表現を学びたいひとにもオススメです。	・表現のなかに創造性を見いだす
98	381209	リテラシーB (多文化リサポート概論I)		2	秋～冬	火・5	○ ○ ○ ○			・ともに多言語多文化の有為な人材を目指す！ ・母語能力も学習外国語運用能力も interactive competence を身に付けることを目指しましょう。方法論は授業中に解説します。それなくして今流行りのアークティヴィ・ラーニングは有り得ないです。また大学設置基準に則して予復習時間を確保しましょう。この二つを実現するだけで効果は確実に「見える化」します。	ポルトガル語の学習法を通じて、グローバル社会に対応する外国語学習の interactive Competence を身に付けるノウハウを伝授します。この能力を身に付けたあなただ、transnationalな世界は待っています。
99	381214	リテラシーF (地球市民の健康管理I)		2	秋～冬	火・4	○ ○ ○ ○			・ともに多言語多文化の有為な人材を目指す！ ・学習外国語運用能力の interactive competence を身に付けることを目指しましょう。また大学設置基準に則して予復習時間を確保しましょう。これを実現するだけで効果は確実に「見える化」します。	ポルトガル語の学習法を通じて、グローバル社会に対応する Global Public Health Care に関する、外国語学習の Interactive Competence を身に付けるノウハウを具体的に伝授します。この能力を身に付けたあなただ、グローバル社会は期待しています。
100	381302	感性表現術A (創作アークショブ／演劇)		1	冬	隔週 木・6-7	○ ○ ○ ○	○		一学期間をかけて、グループで15分ほどの演劇を創り実演するという講座です。グループワークは思いの外、時間がかかりますが、専攻を超えて多くの他者と出会う機会となります。他では得たい経験を保証します。 対話術C(演劇コミュニケーション)を受講していることが望ましい。秋・冬学期開講の当該講座と並行履修でもかまいません。	・人生の不条理と向き合う力。 ・「科学的」「論理的」な説明の限界を知る。 ・芸術や感性について論理的に語る能力や分析力 ・異なる文化的な背景を持った人との合意形成能力 ・現実社会で私たちを悩ます複雑な問題を、より明晰に捕らえる能力

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	世界 分野	*キーワード 成熟	タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
101	381304	感性表現術C (創作ワークショップ/ダンス)		1	秋	集中		○			・創作は、芸術表現に限らず、社会生活のすべてにおいて不可欠な活動の一つです。創作活動において、得意不得意は大きな壁ではありません。西洋的なダンス表現とは異なり、環境とコミュニケーションといるいろいろなものを受け容れ、味わうことができる。アジア的感性を養ってみましょう。からだを動かすことが苦手な方も歓迎します。	・表現のなかに創造性を見いだす ・環境とコミュニケーションする
102	381306	表現術A (臨床記号論)		2	秋～冬	金・3		○	○		・非言語的記号表現がどう機能するかを理解することができる。 ・非言語的記号表現を効果的に使用することができる。 ・他者の生活世界への理解が高まり、共感性が上がる。	・非言語的記号表現がどう機能するかを理解することができる。 ・非言語的記号表現を効果的に使用することができる。 ・他者の生活世界への理解が高まり、共感性が上がる。
103	381502	協働術B (マイノリティ・セミナー)		2	秋～冬	金・6		○	○		「マイノリティ」とは特別な他者のことではなく、誰もそこに置かれうける社会的境遇を指します。さまざまな分野や関心をもつひとたちとともに、こういう課題を考えたい、という意欲のある受講者を歓迎します。	・課題を分かちあい、ともに変革に向かうための基本姿勢
104	381503	協働術C (道路協働プロジェクト)		2	秋～冬	集中		○			・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力	・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
105	381507	特別講義D (社会課題と地域イノベーション1)		1	秋～冬	集中		○	○		・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
106	381508	特別講義E (社会課題と地域イノベーション2)		1	秋～冬	集中		○	○		・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・市民としての社会的責任を果たす能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
107	381511	特別講義F (景観保全と自治)		1	冬	隔週 木・6-7		○	○		・景観保全は、住環境などを考える上で重要な取り組みとして認識され始めている。先行する調査研究の結果以外にも、皆さんが日常生活の中で気になる景観問題について一緒に考えていきましょう。	・地域社会の問題と既存の仕組みとの接点を理解する能力 ・課題解決の方策を見出す能力 ・議論を構築する能力
108	381518	特別講義B (Crossing Borders in Higher Education and Research)	COデザインセンター	1	秋	木・5		○	○		Students from all disciplinary backgrounds, including natural and social sciences, humanities, engineering and medicine, are welcome. The course will be conducted primarily in English. Interested students with limited English proficiency are encouraged to contact the course instructor prior to the registration.	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・外国語運用能力
109	381604	科学技術と公共政策A		1	秋	木・4		○	○		科学技術と社会の関係を考えるためには、公共政策とは何かを理解しておくことが重要で、この科目では、公共政策とは何か？、そして公共政策がどのように立案、決定、実施、そして評価されるかを学びます。科学技術と公共政策B)と合わせて受講することを勧めます。文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・政策を分析・評価する能力 ・議論を構築する能力 ・調査研究リテラシー
110	381605	科学技術と公共政策B		1	冬	木・4		○	○		科学技術と社会の関係を考えるためには、公共政策とは何かを理解しておくことが重要で、この科目では、科学技術に関する公共政策の具体例として、宇宙政策や日本の科学技術イノベーション政策などについて学びます。「科学技術と公共政策A)と合わせて受講することを勧めます。文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・政策を分析・評価する能力 ・議論を構築する能力 ・調査研究リテラシー
111	381701	Global Threats and Sustainability		2	秋～冬	木・3		○	○		文系理系を問わず様々な分野からの受講生を期待します。授業は英語と日本語の両方を使って行います。	・問題認識力 ・課題設定力 ・コミュニケーション力
112	381705	科学技術と社会特論A		1	秋	隔週 水・5-6		○	○		文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・学問の社会的責任を果たす能力 ・議論を分析・評価する能力 ・議論を構築する能力
113	381706	科学技術と社会特論B		1	冬	隔週 水・5-6		○	○		文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・学問の社会的責任を果たす能力 ・議論を分析・評価する能力 ・議論を構築する能力
114	381707	ソーシャルイノベーション (実践編)		2	秋～冬	集中		○	○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・社会課題の発見・解決方法に関心があり、チームで課題解決に向けたプロジェクトに取り組む意欲を持つ学生を歓迎します。	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・リーダーシップをもって積極的に行動する能力
115	381708	Design for Social Innovation C (Practicing Co-creation)		2	秋～冬	集中		○	○		* We expect and welcome students from various fields, who are interested in discovering and solving social problems and who are motivated to work on the project to solve the problem with the team. * Lecture will be given in English	・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力 ・外国語運用能力

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
116	131333	英語上級 (Reading)	全学教育推進機構	1	春～夏	金・5	○	若干名	学部3、4年次生を優先する。(大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可) (1、2年次生も受講可)	高度な外国語運用能力
117	131335	英語上級 (Writing)		1	春～夏	月・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
118	133513	ドイツ語上級		1	春～夏	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
119	133561	フランス語上級		1	春～夏	火・5	○	若干名	学部3、4年次生を優先する。(大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可) (2年次生も受講可)	高度な外国語運用能力
120	133583	ロシア語上級		1	春～夏	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
121	133611	中国語上級		1	春～夏	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
122	135127	文系学生のための科学実験		2	春～夏	水・4	○	40名	＜基礎教養科目(基礎教養2)＞実験室の収容人数に限度があるので、人数が40名を超えた場合は抽選を行うこともある。学部学生を優先する。(1、2年次生も受講可) (大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可)	
123	135220	共生社会とアクセシビリティ		2	春～夏	木・5	○ ○	30名程度	＜先端教養科目＞アクセシビリティ・リーダー1級資格取得に向けた講義内容。アクセシビリティリーダー育成プログラム第3ステップの支援活動経験がある者は教員の方で追加履修登録を受け付ける(若干名)。グループワークを取り入れながらアクセシビリティ・コーディネートについて学ぶ。	現代社会における、真の共生社会の実現に向けて、障がいをはじめとした多様性を活かすダイバーシティ・マネジメント、アクセシビリティ・コーディネートを身につけることができる。
124	138099	現代キャリアデザイン論		2	春～夏	月・5		○	＜先端教養科目＞学部・大学院ともに全学年が受講可能です。詳細はシラバスを参照して下さい。就活対策の授業ではありませんが、就活に役立つ内容も含まれています。社会に出る前にキャリア(生き方・働き方)について学んでおきたい人は是非！	
125	132343	英語上級 (Listening)		1	秋～冬	月・5	○	若干名	学部3、4年次生を優先する。(大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可) (1、2年次生も受講可)	高度な外国語運用能力
126	132345	英語上級 (Speaking)		1	秋～冬	金・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
127	134459	ドイツ語上級		1	秋～冬	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
128	134535	フランス語上級		1	秋～冬	火・5	○	若干名	学部3、4年次生を優先する。(大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可) (2年次生も受講可)	高度な外国語運用能力
129	134577	ロシア語上級		1	秋～冬	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
130	134601	中国語上級		1	秋～冬	火・5	○	若干名		高度な外国語運用能力
131	137132	共生社会とアクセシビリティ		2	秋～冬	木・5	○ ○	30名程度	＜先端教養科目＞アクセシビリティ・リーダー1級資格取得に向けた講義内容。アクセシビリティリーダー育成プログラム第3ステップの支援活動経験がある者は教員の方で追加履修登録を受け付ける(若干名)。グループワークを取り入れながらアクセシビリティ・コーディネートについて学ぶ。	現代社会における、真の共生社会の実現に向けて、障がいをはじめとした多様性を活かすダイバーシティ・マネジメント、アクセシビリティ・コーディネートを身につけることができる。
132	137143	データ科学による課題解決入門		2	秋～冬	水・5	○		1年次に習得した統計学を自身の身近な課題に応用してみませんか。本講義では実践重視で課題解決の方法論を学びます。取り組み課題や仮説の立案、収集データと分析方法など、グループごとに統計の習得状況に応じてTAと教員で指導します。今、何かに思い悩んでいる人、数学(統計)は自分には関係ないと思っている人、データ科学によるアプローチが役に立つかもしれない人。文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します！	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・数理的思考能力(統計スキル・データ処理) ・プレゼンテーションの技能
133	137178	世界の事情を英語で学ぶ 中級編		2	冬	火・5		30名	＜国際教養科目(国際教養1)＞ This course introduces you to political economics, a field of economics to study why a particular policy is adopted or not adopted by politicians. We apply its theoretical framework to understand various political and socio-economic episodes across the world. The course is 100% in English.	1. The ability to see human society through a theoretical framework such as economics. 2. The attitude to embrace facts and data as evidence for how human society works
134	137192	アドバンスド情報リテラシー		2	秋～冬	水・2		40名程度	＜情報処理教育科目＞学部3、4年次生の受講を優先する。(1、2年次生、大学院学生も受講可)	
135	138095	イノベーション		2	秋～冬	木・5	○	80名	＜先端教養科目＞グループワークによるワークショップ型授業として実施予定。学部学生を優先する。(1、2年次生も受講可) (大学院学生は定員に空きがある場合に限り追加登録のみ可)	
136	138509	現代キャリアデザイン論		2	秋～冬	水・2	○		＜先端教養科目＞学部・大学院ともに全学年が受講可能です。詳細はシラバスを参照して下さい。就活対策の授業ではありませんが、就活に役立つ内容も含まれています。社会に出る前にキャリア(生き方・働き方)について学んでおきたい人は是非！	

知のジムナスティクス (高度教養プログラム) 授業科目一覧

Key word

▶ **「世界」**
▶ **「世界を舞台に活動する」**

▶ **「異分野」**
▶ **「異分野の融合を社会に演出する」**

▶ **「成熟」**
▶ **「成熟した市民社会を創る」**

▶ **「タフ」**
▶ **「タフな知性で社会を輝かせる」**

グローバル化した社会のなかで、自らの専門性を活かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

学問分野の境目が流動化した現代において、分野を超えた知の交流を実現するために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

少数の専門家がすべてを決定する社会から、多様な背景をもつ市民によって運営される社会に移行しつつある現代において、自らの専門性を市民とともに生かすために必要な知識やスキルの習得のための科目です。

多様な背景をもつ人々と協働することが求められる社会において、異なる知の領域に触れ、驚き、学ぶことを通じて自らの専門性の意義を問い直すための科目です。

「大学院学生」対象科目 (学部学生は履修できません)

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
1	200315	現代思想文化学講義		2	春～夏	火・5	○ ○	20名程度	分野を超えた「知識」のあり方について考えます。授業はディスカッションを主軸に進めます。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
2	201523	歴史学方法論講義 (歴史学のアプローチA)		2	春～夏	木・3	○ ○	20名程度	・国際公共政策研究科との共同開講授業 ・他部局の学生は国際公共政策研究科の受講生を含めて20名程度	
3	201538	歴史学方法論講義 (歴史研究の理論と方法)		2	春～夏	水・2	○ ○	10名程度	世界史の全体像を概観したい学生には共通教育「市民のための世界史」を、歴史学という学問を概観したい学生にはこの科目と「歴史学のアプローチA」を勧めめています。	
4	20C001	人文学と社会講義		2	春～夏	木・1	○ ○	5名程度	人文学と社会の関係を様々な観点から考察し、この学の社会的な意義や応用を検討します。講義は文学研究科文化動能論専攻の教員によるリレー形式で実施されます。毎回の授業で小テストが行われるか、または、後日提出する小レポートが課せられます。	
5	20C201	アート・メディア史講義		2	春～夏	月・4	○ ○	10名程度		
6	20C207	映像メディア論講義	文学研究科	2	春～夏	火・2	○ ○	10名程度		
7	201525	世界史演習		4	春～冬	通年	○ ○	5名程度	開講日については、シラバス及び担当教員に確認すること。	
8	20C216	メディア論B演習		2	秋～冬	木・4	○ ○	5名程度		
9	200311	現代思想文化学演習		2	秋～冬	火・4	○ ○	10名程度	科学知・専門知のあり方について、「無知」をキーワードに考えます。授業では英語で書かれた文献を購読します。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
10	200314	現代思想文化学講義		2	秋～冬	水・5	○ ○	20名程度	技術とはなにかについて考えます。授業はディスカッションを主軸に進めます。理系の学生にも積極的に参加してもらえればと思います。	
11	201524	歴史学方法論講義 (歴史学のアプローチB)		2	秋～冬	木・3	○ ○	20名程度	・国際公共政策研究科との共同開講授業 ・他部局の学生は国際公共政策研究科の受講生を含めて20名程度	
12	211858	臨床死生学・老年行動学特講 I		2	春～夏	木・1	○ ○	10名程度		
13	211174	比較社会学特講	人間科学研究科	2	春～夏	火・3	○ ○	5名程度	この授業科目は、皆さんの教養のみならず、思考力や実行力さらには人間力を高め、社会に出てからもずっと役立つものになるはずです。文系理系を問わず、関心のある学生の受講を歓迎します。	
14	211260	教育社会学特講		2	春～夏	水・2	○ ○	5名程度		

No.		時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期			曜日 時限	*キーワード		履修の 人数制限	科目選択のための参考情報			
						春	夏	秋	冬	世界	異分野	成熟	タフ	担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能	
15	211266		学校経営学特講	人間科学研究科	2	春～夏				月・2		○	○	5名程度		
16	211602		科学哲学特定演習Ⅰ		2	春～夏					水・4		○	○	10名程度	
17	211718		現象学的な質的研究特講		2	春～夏					火・4		○		なし	
18	211735		環境行動学特講Ⅲ		2	春～夏					月・4		○	○	5名程度	
19	211754		共生社会論特講Ⅱ		2	春～夏					月・3		○		6名程度	
20	211801		多文化共生学特講Ⅰ		2	春～夏					木・2		○		7名程度	
21	211808		地域創生論特講Ⅰ		2	春～夏					月・3		○		8名程度	
22	211745		ジェンダーと教育特講(A)		2			秋		火・5-6			○	○	9名程度	この科目はターム型科目です。開講時期等はシラバスを確認してください。
23	210558		基礎心理学特講Ⅱ		2			秋～冬		火・4			○		10名程度	この授業科目は、皆さんの教養のみならず、思考力や実行力さらには人間力を高め、社会に出てからもきつと役立つものになるはずです。文系理系を問わず、関心のある学生の受講を歓迎します。
24	211153		臨床死生学・老年行動学特講Ⅱ(A)		2			秋～冬		木・1			○	○	10名程度	
25	211675		安全行動学特講Ⅱ		2			秋～冬		水・4			○	○	10名程度	
26	211719		科学技術と文化特講		2	春～夏				水・3			○		15名程度	
27	211733		環境行動学特講Ⅰ		2			秋～冬		水・3			○	○	20名程度	
28	211734		環境行動学特講Ⅱ		2			秋～冬		月・4			○		5名程度	
29	211795		国際協力学特講Ⅱ		2			秋～冬		水・3			○	○	10名程度	
30	211802		多文化共生学特講Ⅱ		2			秋～冬		水・2			○		5名程度	
31	211859		安全行動学特講Ⅰ		2			秋～冬		水・4			○	○	10名程度	
32	216158		多文化医療通訳概論		2					集中			○		5名程度	
33	211794		国際協力学特講Ⅰ		2	春～夏				水・3			○		12名程度	この授業は英語で行います。
34	220409		法政策学	2	春～夏				月・3			○		5名程度	政策科学に関心を持つ学生であること。	
35	220476		総合演習 (実践グローバルリーダーシップ)	2	春～夏				水・6			○	○		グローバルな公共的問題、企業活動にかかわる公共的問題への理解を深めつつ、ゲストとの対話を通じてこれらの課題解決に必要な考え方や方法を身につける	
36	220479		総合演習 (リーダーシップを考える)	2			秋～冬		水・6			○	○		考え方や方法・スキルを応用して授業創造に取り組む、課外教育プログラムではイノベーション創出を含むさらなる応用に取り組む	
37	220547		総合演習 (経営者と語るリーダーシップ)	2			秋～冬		木・4			○	○		企業活動にかかわる公共的問題への理解を深めつつ、ゲストとの対話を通じてこれらの課題解決に必要な考え方や方法を身につける	
38	232110		アジア企業・マネジメント	2	春～夏				月・2			○		5名程度	アジアの事業展開に関する個別の意見を所属の専門性との関連から求める場合があります。	

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
39	241202	先端的研究法・X線結晶解析	理学研究科	2	春～冬	集中	○		講義と実習とで構成される講義です。豊中キャンパス2割、吹田キャンパス8割の割合で講義と実習を配置しています。理工系以外からの受講も期待します。	
40	250506	疫学総論		2	春～夏	集中	○	○	4月～7月の(水) 1800～20:30(予定)	・数理的思考能力(統計スキル・データ処理) ・調査研究リテラシー(情報収集能力・情報技術活用・学習方法の学習) ・プレゼンテーションの技能 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
41	250507	疫学各論		2	春～夏	集中	○	○	8/10(金)～12(日) 8:50～17:50(予定)	・数理的思考能力(統計スキル・データ処理) ・調査研究リテラシー(情報収集能力・情報技術活用・学習方法の学習) ・プレゼンテーションの技能 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・外国語運用能力
42	251516	医療・法・裁判I		2	春	集中	○	○	医療に関する裁判・法を理解するために、医療に関する新聞記事、判決文等を読みます。 講義は、ソクラテスマethodで行います。	法律家の考え方がわかる 法律家の考え方を身に付けることができる 新聞等で医療裁判等の記事を読み、内容をよりよく理解できる
43	251518	行動医学・健康科学		2	春	集中	○	○	本講義は、参加型、体験型の講義を目指すため、受講者の積極的な授業への参加が望まれる。	行動医学・健康科学の知識及びそれをベースにした健康教育技法の取得、健康教室の運営、プレゼンテーション等
44	251522	死因究明学		2	春～夏	集中	○	○	「死因究明学」は今、創造の過程にある21世紀型の新しい学問領域です。この科目ではその需要に触れます。一般的には、死そのものはすべての人に訪れ、そしてその人の終焉という捉え方をしており、その死にともなう儀式が行われてきたことは周知のことです。しかしながら、21世紀以降の社会では、その死を社会の発展に活用する時代になることが予想されています。なぜでしょうか？この講義では「死因」を切り口にしたその情報が私たちの健康や社会にどのような影響をおよぼすかということを考えていただきます。	「死因」から社会的な活用と発展を考える思考が養われます。そのことは社会が総括する課題解決への糸口を一つを身に付けられます。
45	250520	ライフサイエンスの倫理と公共政策学		2	春～夏	集中	○	○	ヒトゲノム解析やiPS細胞を用いた最先端の医学・医療は急速に発展してきており、社会と調和の取れた形で進展するためには、医学倫理や研究ガバナンスに対する取り組みが重要になります。これらの科目は、そうした社会的・学術的ニーズを背景に、研究や医療の現場で働く専門家が、医学倫理と研究ガバナンスの専門的・実践的知識を身に付けるために設置されました。さらに、医学倫理・研究ガバナンスを主たる専門として、将来、大学院で学ぼうと考えている人々が、基礎知識を取得し、自ら課題に取り組む力を身に付けることができるようにデザインされています。	ものごとを俯瞰的に見る力 課題を発見する力 自ら課題に取り組む力
46	250551	医療倫理概論		1	夏	集中	○	○		
47	250552	医学研究倫理・ガバナンス特論A	医学系研究科 医学専攻	1	夏	集中	○	○		
48	251501	経済学・経営学の基礎理論		1	夏	集中	○	○	主に医療職の方々向けの授業内容です(経済学・経営学を専攻する院生向けではありません)	医療にまつわる諸問題について、希少資源の最適配分等の経済学・経営学の基本的な視点で分析・議論ができる
49	251502	医療経済・経営入門		1	秋	集中	○	○	主に医療職の方々向けの授業内容です(経済学・経営学を専攻する院生向けではありません)	医療にまつわる諸問題について、持続可能な組織運営等の経済学・経営学の基本的な視点で分析・議論ができる
50	251505	環境健康リスク論		2	春～冬	集中	○	○	保健医療の知識があることが望ましいですが、必須ではありません。	リスク評価・リスクコミュニケーションの基礎知識、慢性疾患とリスク要因との関連に関する研究手法、疾患データベースの構築法と研究利用法、国際保健・労働衛生・精神衛生分野での応用事例の知識、対策立案の基礎資料と対策の評価法
51	251515	国際健康政策学		2	夏	集中	○	○	人間を守る社会の仕組みを鳥瞰できる能力	特に無し
52	251517	医療・法・裁判II		2	秋	集中	○	○	医療に関する裁判・法を理解するために、医療に関する新聞記事、判決文等を読みます。 講義は、ソクラテスマethodで行います。	法律家の考え方がわかる 法律家の考え方を身に付けることができる 新聞等で医療裁判等の記事を読み、内容をよりよく理解できる
53	251550	グローバリゼーション総論		2	秋～冬	集中	○	○	グローバリゼーションの現状と課題を理解した上で、我が国の保健医療の過去・現在・未来を国際的な視点で考える15回の講義です。インバウンド・アウトバウンド医療に携わる方にも、国際社会で活躍したいと思う方にも、絶好の導入コースとなります。講義は、現在日本で得られる最高の講師によって全部英語でなされますからタフですが、豊富な国際経験を有する阪大の教員が親切に指導しますので頑張って参加してください。	(1) グローバリゼーションの概要を述べる事が出来る (2) 我が国の保健医療の特性と課題を理解し、英語で述べる事が出来る (3) 国際キャリアを含め、将来のキャリア開発を考えるスキルを得ることが出来る
54	250553	医学研究倫理・ガバナンス特論B		1	冬	集中	○	○	ヒトゲノム解析やiPS細胞を用いた最先端の医学・医療は急速に発展してきており、社会と調和の取れた形で進展するためには、医学倫理や研究ガバナンスに対する取り組みが重要になります。これらの科目は、そうした社会的・学術的ニーズを背景に、研究や医療の現場で働く専門家が、医学倫理と研究ガバナンスの専門的・実践的知識を身に付けるために設置されました。さらに、医学倫理・研究ガバナンスを主たる専門として、将来、大学院で学ぼうと考えている人々が、基礎知識を取得し、自ら課題に取り組む力を身に付けることができるようにデザインされています。	ものごとを俯瞰的に見る力 課題を発見する力 自ら課題に取り組む力
55	250554	医療政策学・医学政策学		1	冬	集中	○	○		
56	250272	分子イメージング演習	医学系研究科 医学専攻	1	秋～冬	集中	○	○	PET 分子イメージングの応用領域である創薬の過程、特に臨床試験の事例について理解を深めます。放射線管理区域内で行うので放射線従事者登録が必要となります。1月下旬～2月初旬(予定)	

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期			曜日 時限	*キーワード			履修の 人数制限	科目選択のための参考情報	
					春	夏	秋		世界	分野	成熟		担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
57	255002	生涯保健学	医学系研究科 保健学専攻	2	春～夏			月・2		○		10名程度		
58	255126	がん登録とがん予防		2	春～夏			火・2			○	15名程度		特に無し。ただし、がん登録の見学のため他施設に日程調整していくことがある。
59	255147	放射線基礎物理学		2	春～夏			火・3		○		2名程度		理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。
60	255148	放射線診断物理学		2	春～夏			火・1		○		3名程度		理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。
61	255250	治療物理学		2	春～夏			木・4		○		2名程度		・放射線物理学および放射線計測学の基礎知識があること。 ・理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。
62	255161	臨床腫瘍学総論Ⅰ		1	春～夏			集中		○		5名程度		
63	255003	環境保健学		2			秋～冬	月・2		○		5～10名程度		
64	255129	医療経営学総論		2			秋～冬	火・4		○		10名程度		
65	255162	臨床腫瘍学総論Ⅱ		1			秋～冬	集中		○		5名程度		
66	255167	放射線基礎物理学実習		2			秋～冬	火・3		○		2名程度		・理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。 ・RI登録しておくこと。 ・「放射線基礎物理学」、「高精度放射線治療」など実習以外の医学物理学基礎科目の受講者に限り受け入れ可
67	255181	中医看護学	医学系研究科 保健学専攻	1			秋	金・1-2		○		10名以内		講義の中には実習、実技もあります。また、患者個人情報を出すところもありますので、講義内容について守秘義務の誓約書を書いて載く可能性があります。また、当然ながら遵守載く必要があります。ご承知願いたしでの履修となります。 ・理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。 ・RI登録しておくこと。 ・「放射線基礎物理学」、「高精度放射線治療」など実習以外の医学物理学基礎科目の受講者に限り受け入れ可
68	255153	高精度外部放射線治療実習		4	春～冬			越年 水・1-3		○		2名程度		・理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。 ・RI登録しておくこと。 ・「放射線基礎物理学」、「高精度放射線治療」など実習以外の医学物理学基礎科目の受講者に限り受け入れ可
69	255180	小線源治療実習		4	春～冬			越年 水・4-6		○		2名程度		・理工系学部(研究科)を卒業(修了)していること、または診療放射線技師資格を有すること。 ・RI登録しておくこと。 ・「放射線基礎物理学」、「高精度放射線治療」など実習以外の医学物理学基礎科目の受講者に限り受け入れ可
70	271182	衛生薬学特別講義		1		夏		集中		○		5名程度		
71	271163	ゲノム医療評価統計学特論		1	春			集中		○		10名程度		数理統計学に関する講義を履修していることが好ましい。 機械学習を含むAdvanceな統計の知識とともに、臨床データ、ゲノムデータへの応用例を知る。
72	271164	先進緩和医療薬物学特論		1		夏		集中		○		10名程度		医師、看護師、薬剤師の臨床経験があること。
73	271165	先進がん薬物療法副作用学特論		1		夏		集中		○		10名程度		医師、看護師、薬剤師の臨床経験があること。
74	271192	ヘルスコミュニケーション		2	春～夏			火・4		○		40名程度		薬学コミュニケーションを含めてヘルスコミュニケーションは、専門家ではない人たちに適切な情報を伝えるのみならず、相手が何をどこまで知っているのかを、対話や観察を通して、専門家が理解する技法でもあります。そこでは、専門家の知識が主人公ではなく、わかること/わからないことを見極め適切なコミュニケーションをとれることが重要になります。
75	271162	ゲノム医療体内動態解析学特論		1			秋	集中		○		3名程度		「薬理学特別講義」を履修していること。
76	280096	環境行動論	工学研究科	2	春～夏			月・4		○		数名程度		
77	280367	地球総合工学特論		2	春～夏			水・3		○		10名程度		英語での講義である。
78	280453	燃焼工学		2	春～夏			月・1		○		10名程度		

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	* キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能	
79	280645	知的財産権	工学研究科	2	春～夏	月・3	○ ○	40名程度	知的財産権演習とセットで180分間、グループワーク、ディスカッションを中心に 行う。できる限り知的財産権演習とセットで受講することが望ましい。高度な工学 の専門知識がなくとも参加できるように配慮しているので、文理や予備知識の有無 を問わず、幅広い研究科・学部からの受講を歓迎します。	情報収集能力、アイデア着想能力、提案を伝えるための文章能力の習得を目指します。 知的財産を「創造」、「活用」、「保護」のすべての観点から理解し、具体的な戦略を考えることができる能力育成します。	
80	280646	知的財産権演習		1	春～夏	月・4	○ ○	40名程度	知的財産権とセットで受講すること。演習のみの受講は認められない。	情報収集能力、アイデア着想能力、提案を伝えるための文章能力の習得を目指します。 知的財産を「創造」、「活用」、「保護」のすべての観点から理解し、具体的な戦略を考えることができる能力育成します。	
81	280647	技術融合論		2	春～夏	金・2	○	○	10名程度	学部卒業程度の自然科学の専門知識があることが望ましい。	
82	280654	創生コラボレーション・コミュニケーション論		2	春～夏	金・3	○	○	10名程度		
83	280777	環境材料工学		2	春～夏	月・2	○	○	数名程度	金属系工業材料の各種環境における信頼性・破壊に関する講義を行う。	
84	280844	産業環境マネジメント論		2	春～夏	火・1	○	○	10名程度	配布資料は英語、講義は一部英語で行う。	
85	280845	共生都市環境論		2	春～夏	水・2	○	○	10名程度		
86	280907	交通・地域計画論		2	春～夏	火・4	○	○	3名程度		
87	280968	地域施設整備論		2	春～夏	火・2	○	○	数名程度		
88	281010	サステイナビリティ評価・技術論		2	春～夏	木・3	○	○			
89	281138	エネルギーシステム・要素論		2	春～夏	金・1	○ ○	○	10名程度	再生可能エネルギーや蓄電池の原理に興味がある学生向け	
90	281180	建築マネジメント論		2	春～夏	月・2	○	○	6名程度		
91	281189	Frontiers of Sustainability Science		2	春～夏	集中	○	○	10名程度		
92	281260	サステナブルシステムデザイン論		2	春～夏	月・4	○ ○	○	数名程度	学部卒業程度の工学の専門知識があることが望ましい	
93	280613	工学英語Ⅱ		2	秋～冬	月・5	○		10名程度		
94	280771	機能材料化学		2	秋～冬	月・1	○	○	20名程度		
95	280909	プロジェクトマネジメント論		2	秋～冬	金・2	○ ○	○	5名程度		
96	281097	空間デザイン手法論		2	秋～冬	金・2	○	○	10名程度	学部卒業程度の建築工学の専門知識があることが望ましい	
97	281188	Global Threats and Sustainability		2	秋～冬	木・3	○ ○	○	10名程度		
98	281193	集落・都市のコンテクスチャルデザイン		2	秋～冬	火・5	○ ○	○	20名程度		
99	281251	量子計測学		2	秋～冬	火・3	○	○	20名程度		
100	281253	イノベーションデザイン実践		2	春～冬	集中	○	○	6名程度	幾つかのグループに分かれて演習をします。①実社会にある課題解決をする。②自分の研究テーマを見つめる。③技術シーズの実用化のための要件やステップを学ぶ。	自分の研究テーマの社会的意義をしっかりと認識し人に説明できる。科学技術シーズを実用化や起業まで繋ぐために必要な要件やステップを知る。
101	290343	画像システム論	基礎工学研究科	2	春～夏	水・2	○	10名程度	隔年でImaging Systemsとして英語開講（平成30年度は英語開講）		

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能	
102	290473	バイオエシックス	基礎工学研究科	2	春～夏	月・3	○ ○	10名程度	多様な立場から生体工学に関わる倫理について考える学生参加型の授業	・研究と社会との接点を考える能力 ・議論を分析・評価する能力 ・議論を構築する能力 ・多様な考えや意見を集約する能力	
103	290568	分子流体力学特論		2	春～夏	火・2		○	20名程度	分子(原子、イオン、電子を含む)の運動から、熱流体力学、輸送論、電気工学を捉える数理物理の講義	・物理と数学を結びつける力
104	290566	科学技術移転論		2	秋～冬	金・5	○ ○	○	10名程度	知財出願とその後の対応方法、及びブランニングに関する実践的演習も行っています。配属すべき研究体制の組み方まで、研究者の視点と知財専門家によるアドバイザー等をもとにして、受講者の方々と考えていきます。	・研究と社会との接点を強化する能力
105	290719	複合現実感システム論		2	秋～冬	火・4	○ ○	○	5名程度	隔年でMixed Reality Systemsとして英語開講(平成30年度は英語開講)受講のためには、コンピュータプログラミングの基礎的知識が必要	
106	300203	比較言語文化論A		2	春～夏	水・2	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
107	300233	公共文化形成論A		2	春～夏	水・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
108	300237	現代超域文化論A		2	春～夏	金・4	○ ○	○	5名程度	植民地主義やグローバリ化と文化との関係に注目します。普遍的なテーマですので、文系・理系を問わず、さまざまな専門分野の学生が受講可能です。	
109	300241	ジェンダー論A		2	春～夏	火・3	○ ○	○	5名程度	Awareness of the complex impact of ideas about gender on all aspects of language and culture is a valuable asset for a research scientist, no matter what your field of specialization. Come with an open mind!	
110	300255	言語コミュニケーション論A		2	春～夏	月・3	○ ○	○	5名程度	ことばによるコミュニケーションや言語教育に関心のある方の方の積極的な参加を期待します。	
111	300267	言語技術研究A		2	春～夏	水・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
112	300281	言語文化教育論A	2	春～夏	水・2	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。		
113	300293	応用言語学研究A	2	春～夏	木・2	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。		
114	300311	コーパス言語学研究A	言語文化研究所 (豊中キャンパス)	2	春～夏	月・1	○ ○	○	5名程度	言語コーパスに限らず、調査データ等の計量的データを扱えるようになるための情報処理技術を、エクセルやデータ解析環境 R などの処理ツールを中心に学習します。文系理系問わず歓迎します。	数理的思考能力
115	300315	コーパス言語学研究A		2	春～夏	水・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
116	300325	認知言語学研究A		2	春～夏	月・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
117	300345	比較言語文化論A		2	春～夏	水・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
118	300382	言語特別演習A(英語)		2	春～夏	月・2	○ ○	○	3名程度	英語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。	外国語運用能力
119	300384	言語特別演習A(フランス語)		2	春～夏	火・4	○ ○	○	3名程度	フランス語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。	外国語運用能力
120	300394	言語特別演習A(ドイツ語)		2	春～夏	木・1	○ ○	○	3名程度	ドイツ語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。	外国語運用能力
121	300398	自然言語処理A		2	春～夏	火・3	○ ○	○	5名程度	自然言語処理の技術はもはや理工学系の分野にとどまらず幅広く応用されている中、異分野の学生の参加を大歓迎します。また、統計的手法やプログラミングの事前知識はなくても参加ができます。	
122	300204	比較言語文化論B		2	秋～冬	水・2	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
123	300210	言語文化交流論B		2	秋～冬	月・5	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。	
124	300234	公共文化形成論B	2	秋～冬	水・4	○ ○	○	5名程度	文系・理系問わず、歓迎します。		
125	300238	現代超域文化論B	2	秋～冬	金・4	○ ○	○	5名程度	植民地主義やグローバリ化と文化との関係に注目します。普遍的なテーマですので、文系・理系を問わず、さまざまな専門分野の学生が受講可能です。		
126	300242	ジェンダー論B	2	秋～冬	火・3	○ ○	○	5名程度	Awareness of the complex impact of ideas about gender on all aspects of language and culture is a valuable asset for a research scientist, no matter what your field of specialization. Come with an open mind!		

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期			曜日 時限	*キーワード			履修の 人数制限	科目選択のための参考情報		
					春	夏	秋		世界 異分野	成熟	タフ		担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能	
127	300256	言語コミュニケーション論 B	言語文化研究所 (豊中キャンパス)	2			秋～冬	月・3	○		○	5名程度	ことばによるコミュニケーションや言語教育に関心のある方の積極的な参加を期待します。	数理的思考能力	
128	300268	言語技術研究 B		2			秋～冬	水・4		○		○	5名程度		文系・理系問わず、歓迎します。
129	300282	言語文化教育論 B		2			秋～冬	水・2		○		○	5名程度		文系・理系問わず、歓迎します。
130	300294	応用言語学研究 B		2			秋～冬	木・2		○		○	5名程度		文系・理系問わず、歓迎します。
131	300312	コーパス言語学研究 B		2			秋～冬	月・1	○	○			5名程度		言語コーパスに限らず、調査データ等の計量的データの特色をどのように表現するかを、統計的な捉え方をベースに、エクセルやデータ解析環境 R などの処理ツールを用いて学習します。文系理系問わず歓迎します。
132	300326	認知言語学研究 B		2			秋～冬	月・4				○	5名程度		文系・理系問わず、歓迎します。
133	300346	比較言語文化論 B		2			秋～冬	水・4		○		○	5名程度		文系・理系問わず、歓迎します。
134	300383	言語特別演習 B (英語)		2			秋～冬	水・2	○	○			3名程度		英語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。
135	300385	言語特別演習 B (フランス語)		2			秋～冬	金・1	○	○			3名程度		フランス語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。
136	300395	言語特別演習 B (ドイツ語)		2			秋～冬	火・3	○	○			3名程度		ドイツ語で論文を執筆したり、発表をしたりするための言語運用能力を養成します。
137	300399	自然言語処理 B		2			秋～冬	火・3	○	○			5名程度		統計的手法やプログラミングの事前知識は前期で学習した程度の知識が必要です。が、計算工学やプログラミングの知識があれば、後期のみの参加も歓迎します。
138	305411	アイヌ語 A		2		夏		集中	○				5名程度		集中講義 8/7～8/9 の予定
139	305413	現代チベット語 A		2	春～夏			水・4	○			○	5名程度		
140	305415	古典チベット語 A		2	春～夏			木・3	○			○	5名程度		講義は日本語で行うため、相応の日本語力が必要である。「古典チベット語 A」「同 B」通しての受講がのぞましい。
141	305423	オセアニア諸語 A	2	春～夏			金・4	○				5名程度	・特に予備知識は必要としない。 ・使用する映像資料は英語もしくは現地語と英語字幕が多いので英語のリスニング力を鍛えておいてほしい。 ・聞いたことのない言語をたくさん取り扱うので、向学心と好奇心の強い人の履修を期待する。		
142	305425	サンスクリット語 A	2	春～夏			火・2	○			○	5名程度	・サンスクリット語 B (秋～冬学期) を履修希望の場合、同 A (当科目) から履修することを強く勧める。 ・さまざまな専攻分野からの参加を歓迎します。		
143	305427	パーリ語 A	2	春～夏			金・4	○			○	5名程度			
144	305429	ベンガル語 A	2	春～夏			木・3	○			○	5名程度	・園がい、等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、言語文化研究科・外国語学部実面事務室に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。 ・教科書などを参考にして、初回の授業までに / バングラ文字で自分の名前がかけられる程度には文字を自習してきてください。		
145	305447	西アフリカ諸語 A	2	春～夏			木・3	○			○	5名程度			
146	305451	古代教会スラブ語 A	2	春～夏			木・4	○			○	5名程度			
147	305453	ウクライナ語 A	2		夏		集中	○			○	5名程度	集中講義 8/7～8/9 の予定		
148	305455	ポーランド語 A	2	春～夏			火・5	○			○	5名程度			
149	305457	リトアニア語 A	2		夏		集中	○			○	5名程度	初心者向けの集中講義ですが、その後学習を続けるための手引きも行います。インド・ヨーロッパ語族の諸言語についての知識があれば、リトアニア語の理解に役立つでしょう。(集中講義 8/7～8/9 の予定)		
150	305459	エスペラント語 A	2	春～夏			木・2	○			○	5名程度	・園がい、等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、言語文化研究科・外国語学部実面事務室に事前に相談するとともに、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。		

No.	時間割 コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期			曜日 時限	*キーワード			履修の 人数制限	科目選択のための参考情報	
					春	夏	秋	冬	世界	分野	成熟		担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
151	305461	ラテン語A	言語文化研究科 (箕面キャンパス)	2	春～夏			金・5	○		○	5名程度		
152	305414	現代チベット語B		2			秋～冬	水・4	○		○	5名程度	本講義ではチベット文字を使用するため、「現代チベット語A」と合わせて履修するか、既に「古典チベット語」を履修しているなど、チベット語の学習経験があることが望ましい。	
153	305416	古典チベット語B		2			秋～冬	木・3	○		○	5名程度	講義は日本語で行うため、相応の日本語力が必要である。「古典チベット語A」「同B」通しての受講がのぞましい。	
154	305424	オセアニア諸語B		2			秋～冬	金・4	○		○	5名程度	・予備知識は必要としないが、向学心の高い学生が望ましい。 ・授業資料は英文、和文の両方を利用する。映像資料は英語が多い。 ・前期の授業を履修していないと問題ない。	
155	305426	サンスクリット語B		2			秋～冬	火・2	○		○	5名程度	サンスクリット語A(春～夏学期)から履修することを強く勧める。同B(当科目)だけ履修しても理解はほぼ不可能です。	
156	305428	バーリ語B		2			秋～冬	金・4	○		○	5名程度		
157	305430	ベンガル語B		2			秋～冬	木・3	○		○	5名程度	・隣がい、等により本講義の受講に際し特別な配慮を要する場合は、言語文化研究科・外国語学部箕面事務室に事前に相談することにも、初回授業等、早期に授業担当教員に申し出てください。 ・後期から受講するひとは、前期であつた内容を自習した上で受講するようにしてください。そのさい、基本字母は完全に習得したうえで受講するようにしてください。	
158	305448	西アフリカ諸語B		2			秋～冬	木・3	○		○	5名程度		
159	305452	古代教会スラブ語B		2			秋～冬	木・4	○		○	5名程度		
160	305454	ウクライナ語B		2			冬	集中	○		○	5名程度	集中講義12/26～12/28の予定	
161	305456	ポーランド語B		2			秋～冬	火・5	○		○	5名程度		
162	305458	リトアニア語B		2			冬	集中	○		○	5名程度	初心者向けの集中講義ですが、その後学習を続けるための手引きも行います。インド・ヨーロッパ語族の諸言語についての知識があれば、リトアニア語の理解に役立つでしょう。(集中講義12/26～12/28の予定)	
163	305460	エスperanto語B		2			秋～冬	月・3	○		○	5名程度		
164	305462	ラテン語B		2			秋～冬	金・5	○		○	5名程度	「ラテン語A」の受講者あるいは初歩的知識(動詞・直説法、名詞の基本的変化を知っているレベル)を有する者が受講可能。	
165	310412	経済開発論	国際公共政策研究科	2	春～夏			月・2	○					
166	310930	特殊講義(国際貿易論)		2	春～夏			火・4	○		○	5名程度	修士課程・博士前期課程の学生対象	
167	310983	プロジェクト演習 (ネゴエーションI)		2	春～夏			集中	○		○	5名程度		
168	311075	プロジェクト演習 (リーダーシップデザイン)		2	春～夏			火・3	○		○	5名程度		
169	311127	プロジェクト演習 (実践グローバルリーダーシップ)		2	春～夏			水・6	○		○	5名程度		
170	311161	演習(平和研究)		2	春～夏			隔週 月・4・5	○		○	5名程度		
171	311164	特殊講義(紛争研究概論)		2	春～夏			火・5	○		○	5名程度		
172	310686	政策データ分析法		2	夏			水・2 金・2	○		○			
173	310518	演習(総合安全保障)		2			秋～冬	隔週 月・4・5	○		○	5名程度		
174	310953	特殊講義 (国際貿易政策)		2			秋～冬	木・4・5	○		○	5名程度	第1・2・5週は4時限のみ、第3週は除く、第4週は4・5時限	
175	310984	プロジェクト演習 (ネゴエーションII)		2			秋～冬	集中	○		○	5名程度		

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	世界 異分野	*キーワード 成熟	履修の 人数制限	担当教員からのメッセージ／留意事項等	科目選択のための参考情報	身に付く能力・技能
176	311167	演習 (移兵器と国際関係)		2	秋～冬	火・3	○		5名程度	修士課程・博士前期課程の学生対象		
177	310013	国際連合システム論		2	秋～冬	水・3	○		5名程度			
178	310119	プロジェクト演習 (リーダーシップを考える)		2	秋～冬	水・6	○		5名程度			
179	311221	演習 (多文化共生論)		2	秋～冬	水・2	○	○	5名程度			
180	311230	特殊研究 (多文化共生論)	国際公政策策研究科	2	秋～冬	水・2	○	○	5名程度	修士課程・博士前期課程、高等司法研究科の学生は履修できません。		
181	311444	特殊講義 (経営者と語るリーダーシップ)		2	秋～冬	木・4	○		10名程度			
182	311499	特殊講義 (国際問題Ⅱ)		2	秋～冬	隔週 火・2-3	○			日本外交の課題を学びつつ、自分の考えを持ち、クラスで積極的に発言すること 特にケース・スタディを中心にグループ討論を行う予定。 Do participate in the class discussion on various case studies.	日本外交と国際問題について大学生として十分な理解を身につけること。 具体的なケーススタディを通じて日本外交の理解をさらに深めます。 To comprehend Japanese diplomacy through various case studies and develop leadership skills	
183	331222	情報数学概論		2	春～夏	金・4			20名程度			
184	331325	コンピュータサイエンス基礎論		2	春～夏	水・4	○		20名程度	・コンピュータプログラムに関する基礎的な知識を前提とする。 ・授業は英語で行う。		
185	331724	バイオ情報工学入門	情報科学研究科	2	春～夏	火・5	○		30名程度	・講義資料は英語とする。	生命現象の解析とそれに基づく情報技術の創出に関する研究を理解する能力	
186	331525	情報ネットワーク学基礎論		2	秋～冬	水・4	○		15名程度	・一般に開放するが、定員総計を80名とし、情報科学研究科学生を優先する。 ・インターネットの利用経験があり、コンピュータネットワークに関する基礎知識があるほうが望ましい。		
187	331426	インタラクティブ創成工学基礎 演習 A		4	春～冬	水・5-6	○	○	10名程度	・一般に開放するが、情報科学研究科学生受講生を招かない人数を受け入れる。 ・インタラクティブな作品の共同制作を行うので、企画、デザイン、制作等の制作プロセスを分担できる分野の基礎知識を持つことが望ましい。 ・超短期プログラムの留学生を受け入れることがあるので、英語によるコミュニケーション能力があることが望ましい。	グループを作って協同して作業する能力	
188	320001	基礎物理学 I		2	集中	集中	○		10名程度			
189	320015	コンピュータ・科学演習	生命機能研究科	1	夏	集中	○		10名程度	可能な限り、ノートPCを持参していただきたい。また、LabView評価版をあらかじめインストールしておくください。		
190	320002	基礎物理学 II		2	秋～冬	水・3	○		10名程度			
191	774034	疫学統計学1	連合小児発達学研究科	1	春	木・5	○	○	5名程度	・修士課程・博士前期課程、高等司法研究科の学生は履修できません。 ・浜松医科大学からTV会議システムを用いた遠隔講義となります。		
192	774035	疫学統計学2		1	夏	木・5	○	○	5名程度	・修士課程・博士前期課程、高等司法研究科の学生は履修できません。 ・浜松医科大学からTV会議システムを用いた遠隔講義となります。		
193	382201	ソーシャルイノベーションA (コンセプト編) 【COデザイン科目】		1	春	火・6	○	○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・社会課題の発見・解決方法に関心があり、チームで課題解決に向けたプロジェクトに取り組む意欲を持つ学生を歓迎します。 ・本講義後には、科目「ソーシャルイノベーションB」、「ソーシャルイノベーションC」の履修をおすすめします。	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・市民とのコミュニケーション能力	
194	382202	Design for Social Innovation A (Exploring Concepts and Approaches) 【COデザイン科目】	COデザインセンター	1	春	火・5	○	○		* We expect and welcome students from various fields, who are interested in discovering and solving social problems and who are motivated to work on the project to solve the problem with the team. * Recommended to take courses "Design for Social Innovation B" and "C." * Lecture will be given in English	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を分析・評価する能力 ・外国語運用能力	
195	382203	COデザイン講義 (Frontier of Sustainability Science) 【COデザイン科目】		2	春～夏	集中	○	○		文系理系を問わず様々な分野からの受講生を期待します。授業はディスカッションは英語で行いますが、日本語でもサポートします。	・問題認識力 ・課題設定力 ・コミュニケーション力	
196	382204	COデザイン講義 (Food security and sustainability) 【COデザイン科目】		2	春～夏	火・2	○			・文系理系を問わず国際問題に関心のある様々な分野の学生の受講を期待します。 ・講義は英語で行いますが、日本語でもできる限りサポートします。	・数理的思考能力 (統計スキル・データ処理) ・プレゼンテーションの技能 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・英語運用能力	

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位 数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
197	382502	ソーシャルイノベーションB (ツール編) 【COデザイン科目】		1	夏	火・6	○ ○ ○ ○		・文系理系を問わず様々な分野の学生の受講を期待します。 ・社会課題の発見・解決方法に関心があり、チームで課題解決に向けたプロジェクトに取り組み意欲を持つ学生を歓迎します。 ・本講義後には、科目「ソーシャルイノベーションC」の履修をおすすめします。	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力 ・市民とのコミュニケーション能力
198	382503	Design for Social Innovation B (Choosing Tools and Methods) 【COデザイン科目】		1	夏	火・6	○ ○ ○ ○		* We expect and welcome students from various fields, who are interested in discovering and solving social problems and who are motivated to work on the project to solve the problem with the team. * Lecture will be given in English	・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力 ・外国語運用能力
199	382506	システム思考 【COデザイン科目】		1	春～夏	シラ パス 参照	○ ○ ○ ○	○	どんなに複雑にみえても、何かをしなければならぬという状況は常に存在します。そんなときでも、迷わずに暮れることなく、運にまかせるのではなく、ロジカルに問題の打開策を考えいけるような思考法を学びましょう。	・システム思考 ・チームワーク ・プレゼンテーション
200	382601	課題解決ケーススタディ (人口減少引き起こす社会の変化) 【COデザイン科目】	COデザインセンター	1	春～夏	シラ パス 参照	○ ○ ○ ○	○	「課題」はたいいてい簡単に解決できるものではないですし、解決したと思った次の瞬間には、形をかえて別の課題となって現れるものもあります。安易な課題解決にすぎないような、骨太の思考を身に着けましょう。	・複眼的思考 ・プレゼンテーション ・批判的思考 ・論理的思考
201	382602	課題解決ケーススタディ (人と動物共生可能な地域づくり) 【COデザイン科目】		1	春～夏	シラ パス 参照	○ ○ ○ ○		社会課題はおまじりに単純化されて語られることもありますが、解決に至るためには、問題がいかに複雑であるかという認識を得ること、そしてそれを多くの関係者が共有することがスタートとなります。みなさんが住んでいる地域や、時にはキャンパス内でも生じている問題を例として、社会課題を肌で感じていただければと思います。	・多角的視点の獲得 ・多様なステークホルダーとの共感形成 ・データの裏側に対する洞察 ・対立構造のキーポイントを抽出する能力
202	382102	COデザイン演習 (当事者との対話) 【COデザイン科目】		2	冬	月・ 4・5	○ ○ ○ ○	○	対話術 A と B を受講していることを基本としますが、当事者との対話に真摯に取り組むたいい方の受講を歓迎します。	・議論とは異なった、ともに考えともに探究する態度 ・アガリ・共感的に考える
203	382505	COデザイン演習 (マイノリティ・セミナー) 【COデザイン科目】		2	秋～冬	金・6	○ ○ ○ ○	○	「マイノリティ」とは特別な他者のことではなく、誰もそこに置かれる社会的境遇を指します。さまざまな分野や関心をもつひとたちとともに、こういう課題を考えた、という意欲のある受講者を歓迎します。	・アガリ・共感的に考える ・課題を分かちあひ、ともに変革に向かうための基本姿勢
204	382603	課題解決ケーススタディ (健康長寿社会の実現に向けた取組み) 【COデザイン科目】		1	秋～冬	シラ パス 参照	○ ○ ○ ○		リアルな国際課題に対して履修生同士で共同しながら解決策を模索する、模範国連形式の授業です。特に交渉を通して人を動かす力は、就職時のみならず、日常生活においても身に付けておくことと役立ちます。	・調査研究リテラシー ・交渉・コミュニケーション能力 ・議論を構築する能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力
205	9C0021	物質科学キャリアアップ特論a (インタラクティブ物質科学・カダットプログラム)	未来戦略機構 (インタラクティブ物質科学・カダットプログラム)	2	春～夏	月・ 3・4	○ ○ ○ ○	5名	※開講日、履修手続きについてはインタラクティブ物質科学カダットプログラム事務局にお問い合わせください。	
206	9C0022	物質科学キャリアアップ特論b		2	秋～冬	月・ 3・4	○ ○ ○ ○	5名	10月～12月の3・4限2コマ連続の8回授業。	
207	9D0006	ヒューマンウェア基礎論 I	未来戦略機構 (ヒューマンウェアイノベーション・博士課程プログラム)	2	春～夏	金・6 (注)	○ ○ ○ ○	若干名	履修を希望する方は初回授業で担当教員に許可を得てください。履修登録は当事務室で行います。 (注) 授業時間は17:15-18:45を予定。	・プレゼンテーションの技能 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・議論を構築する能力
208	9E0023	メディア考現学 ー「いちよう論説」づくり	未来戦略機構 (未来共生イノベーション博士課程プログラム)	2	春～夏	水・2	○ ○ ○ ○	10名程度	異文化や多様性に関するブレゼン、文章執筆能力の向上	
209	9E0049	メディアから見る未来社会		2	秋～冬	木・3	○ ○ ○ ○	10名程度	異文化や多様性をめぐるメディアへの理解向上	
210	9A0025	アートクリエイション	未来戦略機構 (超域イノベーション博士課程プログラム)	1	夏	集中	○ ○ ○ ○	3名程度	・人生の不条理と向き合う力。 ・「科学的」「論理的」な説明の限界を知る。 ・芸術や感性について論理的に語る能力や分析力 ・異なる文化的な背景を持った人との合意形成能力 ・現実社会で私たちを悩ます複雑な問題を、より明晰に捕らえる能力	
211	C50302	製品開発：ニーズ調査と発想を学ぶ		2	春～夏	集中	○ ○ ○ ○	30名程度	ガイダンス以外、全て外部講師主導で行われます。よって二日間全てに参加をお願いします。 また文系理系関係なく幅広い分野・年齢層の参加が好ましいためチーム(学外でも問題ありません)での参加も問題ありませんが、その場合、配布資料等々準備物がありますので、事前に連絡ください。	・グループワークを通じた議論する力 ・課題発見能力
212	C50303	製品開発：プログラミングと制御を学ぶ		2	春～夏	集中	○ ○ ○ ○	30名程度	必須ではありませんが、生命機能研究科「コンピュータ科学演習」の受講もオススメです。こちらはlabviewおよび画像処理の基礎的に学ぶことができます。	・プログラミングスキル
213	C50304	製品開発：先端技術開発現場体験	全学教育推進機構 (共創機構産学共創本部)	2	春～夏	集中	○ ○ ○ ○	15名程度	吹田キャンパスで開講。理系大学院生に特化する。	
214	C50307	製品開発：商品アイデアを練る		2	春～夏	集中	○ ○ ○ ○	20名程度	受講計画にあります「デザイン思考を学ぶ」は、「製品開発 商品アイデアを練る」と合同で行います。重複履修してもらっても問題ありません。 デザイン思考については、以下のページも参照ください： https://designthinking.org/jp/ ※前年度のアイデアの一つが実際に商品化へと進められています。なお、出たアイデアが商品化された場合は、「ネーミングライツ」が受講生には認められます。	・課題発見能力 ・発想力

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報	身に付く能力・技能
215	C50301	製品企画：発想の源を探る	全学教育推進機構 (共創機軸産学共創本部)	2	春～冬	集中	○	20名程度	文理問いません。吹田キャンパス開講。定員超過時は選抜を行う。	・インタビュースキル ・記事にまとめるなど書く力
216	C50305	製品評価：測ることで見える製品アイデアへのフィードバック		2	春～冬	集中	○ ○ ○	20名程度	受講計画にあります「デザイン思考を学ぶ」は、「製品開発 商品アイデアを練る」と合同で行います。重複履修してもらっても問題ありません。 端附アップサイクルについては参考にHPを見てください： http://etsaw.jp/ デザイン思考については、以下のページも参照ください： https://designthinking.org.jp/	・課題発見能力 ・発想力
217	C50401	大学授業開発論Ⅰ		2	春～夏	変則 木・5・6	○	30名	将来大学教員を目指す大学院生の皆さん、教育力のトレーニングは十分ですか？ 今、大学の現場では、研究力はもちろん、教育力が必要です。教える仕事に就きたい院生、研究科を越えて交流したい院生にお勧めします。大学院高度副プログラム合同ガイダンスで説明会を行います。受講には事前にウェブエントリーが必要です。必ずウェブシラバスを確認して下さい。	・プレゼンテーション能力 ・デザイン力 ・効果的に教える能力 ・学びを支援する能力 ・異なる専門分野でのコミュニケーション能力
218	C50403	大学授業開発論Ⅱ		2	春～夏	集中	○	15名	授業の相互観察および自己の振り返りを通して、教授法に関する新たな見方を得ることを目指します。大学授業開発論Ⅰの修了生で、さらに実践の経験を積みたい方に強く推奨します。受講条件は、大学授業開発論Ⅰが履修済みであること、原則、高等教育機関において90分の実習先を自ら確保できることです。	・効果的に教える能力 ・異なる専門分野でのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・リーダーシップをもって積極的に行動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
219	C50104	学術的文章の作法とその指導		2	秋～冬	木・3	○ ○ ○	20名程度	他の書き手を助ける観点(目の付けどころ)や技法を身につけることは、自分が「自立した書き手」となることにつながります。なぜなら、自分の文章をあたかも他者のものであるかのように客観的に見ることができれば「自立した書き手」とは言えないからです。この授業で行われるピアワークで他の書き手の改善を助けることは、「自立した書き手」となるための重要な訓練ともなります。クラスの他の受講者への貢献が自己の成長につながる大切な心得に授業に臨んで下さい。	・論理的かつ説得力に富む学術的文章を作成するための技能 ・他者の文章を客観的に評価し、その改善を助けるための観点や方法論 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力
220	C50404	大学授業開発論Ⅱ	全学教育推進機構	2	秋～冬	集中	○	15名	授業の相互観察および自己の振り返りを通して、教授法に関する新たな見方を得ることを目指します。大学授業開発論Ⅰの修了生で、さらに実践の経験を積みたい方に強く推奨します。受講条件は、大学授業開発論Ⅰが履修済みであること、原則、高等教育機関において91分の実習先を自ら確保できることです。	・効果的に教える能力 ・異なる専門分野でのコミュニケーション能力 ・多様性を尊重しながらチームで活動する能力 ・リーダーシップをもって積極的に行動する能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力
221	C50402	大学授業開発論Ⅰ		2	秋	集中	○	30名	将来大学教員を目指す大学院生の皆さん、教育力のトレーニングは十分ですか？ 今、大学の現場では、研究力はもちろん、教育力が必要です。教える仕事に就きたい院生、研究科を越えて交流したい院生にお勧めします。大学院高度副プログラム合同ガイダンスで説明会を行います。受講には事前にウェブエントリーが必要です。必ずウェブシラバスを確認して下さい。	・プレゼンテーション能力 ・デザイン力 ・効果的に教える能力 ・学びを支援する能力 ・異なる専門分野でのコミュニケーション能力
222	C50405	大学授業開発論Ⅲ		2	冬	集中	○	20名	就職前の段階から、大学教員の複雑な業務を理解し、具体的なビジョンを描くことによって、現実的なキャリアの見通しを持つことができると同時に、自らキャリアを開発していく能力を身につけることを目指します。受講条件は、大学教育開発論Ⅰを履修していること、集中講義の3日間全ての日程に参加できることです。当日は、ノートパソコンを持参して下さい。	・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・学問の社会的責任を果たす能力 ・課題の発見と解決に向けて計画的に取り組む能力 ・リフレクションの能力
223	C50406	現代キャリアデザイン特論		2	秋～冬	集中	○ ○ ○	20名	この授業は就活のノウハウを教えることを目的とした授業ではありません。生き方・働き方について(主として心理学や社会学の観点から)学び、大学院での学び方を身に付けてもらうことが目的です。高度化・複雑化・グローバル化する現代社会を生き抜くための知識・技能・態度そして人脈を授けます！主体的・積極的に参加してください！詳細はシラバスに掲載します。	・キャリアデザイン力(自己分析と人生設計) ・コミュニケーション力(自己開示と他者傾聴) ・プレゼンテーション力(ポスター発表と口頭発表)
224	C50501	上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション)A		2	春～夏	火・4	○ ○	10名程度	吹田キャンパスで開講。	大学院での活動に必要な日本語運用能力、および、様々な問題について日本の立場や視点から考える力
225	C50503	上級専門日本語 (アカデミック・プレゼンテーション)A		2	春～夏	水・4	○ ○	10名程度	吹田キャンパスで開講。日本語の漢字を1000字以上読み書きができることを受講の条件とします。	大学院の講義やゼミ・研究会などで使用される教科書、専門書、論文等の各種文献を、辞書等を用いて自力で読む力。
226	C50505	上級専門日本語 (アカデミック・リーディング)A	全学教育推進機構 (国際教育交流センター)	2	春～夏	月・5	○ ○	10名程度	吹田キャンパスで開講。日本語の漢字を1000字以上読み書きができることを受講の条件とします。	研究とアカデミック・ライティングに対するメタ認知能力、および日本語によるレポート・論文の作成に必要な基礎的な文章力
227	C50507	上級専門日本語 (アカデミック・ライティング)A		2	春～夏	火・5	○ ○	10名程度	吹田キャンパスで開講。日本語の漢字を1000字以上読み書きができることを受講の条件とします。	1) 日本の就職システムおよび就活用語を理解し、就職活動に積極的に取り組むことができる。2) CV(履歴書)、ES(エントリーシート)の書き方を修得し、就職活動をスキルアップさせる。3) ビジネス関連の語彙や用語を理解し、ビジネス場面における協働的な異文化コミュニケーションを構築することができる。
228	C50510	キャリアデザインとビジネス・コミュニケーション		1	春	木・4	○ ○ ○	15名程度	吹田キャンパスで開講。日本の内外において言語や文化の異なる人々と働くことに興味のある学生、留学生の場合は日本語の漢字750字以上の読み書きができることを受講の条件とします。	

No.	時間割コード	授業科目名	開講部局	単位数	*開講学期 春 夏 秋 冬	曜日 時限	*キーワード 世界 異分野 成熟 タフ	履修の 人数制限	科目選択のための参考情報 担当教員からのメッセージ／留意事項等	身に付く能力・技能
229	C50502	上級専門日本語 (アカデミック・コミュニケーション)B	全学教育推進機構 (国際教育交流センター)	2	秋～冬	火・4	○	10名程度	吹田キャンパスで開講。	大学生活で必要となる論理的なコミュニケーションのための日本語運用能力、および、様々な問題についての複数の立場や視点から考える力
230	C50506	上級専門日本語 (アカデミック・リーディング)B		2	秋～冬	月・5	○	10名程度	吹田キャンパスで開講。日本語の漢字を 1000 字以上読み書きができることを受講の条件とします。	大学の講義やゼミ・研究会などで使用される教科書、専門書、論文等の各種文献を、辞書等を用いて自力で読む力。
231	C50508	上級専門日本語 (アカデミック・ライティング)B		2	秋～冬	火・5	○	10名程度	吹田キャンパスで開講。日本語の漢字を 1000 字以上読み書きができることを受講の条件とします。	研究とアカデミック・ライティングに対するメタ認知能力、および日本語によるレポート・論文の作成に必要な基礎的な文章力
232	C50602	産業科学特論	全学教育推進機構 (産業科学研究所)	2	秋～冬	金 4・5	○	30名	吹田キャンパス産業科学研究所で開催します。内容は材料・化学・生物・ナノテクノロジーの広範な分野を対象に、基礎研究からどのように企業との共同研究への展開するのかが、あるいはどうやって起業するのなどが対象として、産業科学研究所の教員の事例から学びます。またゲストスピーカーによる産学連携や技術管理に関する講演から、先端研究とその応用の在り方を学びます。	産学連携や起業の成功事例を学ぶことで、新しい産業を創出する基礎研究から企業との共同研究の進め方や起業に必要なスキルやマネージメントを学び、イノベーションを育みます。
233	C50601	データマイニングの基礎と実践		2	夏	集中	○	15名	統計・数理の基礎から高度なアルゴリズムまで、数学的基礎知識に乏しい人・データ解析経験のない人から、一通り統計解析の知識を身に付けている人まで、理系から文系まで全研究科の大学院生を幅広く対象とします。基礎知識から高度なデータ解析のための知識、データ解析システムを使いこなす知識、実社会データを用いた解析演習など、基礎から実践までを学びます。	この講義を受講することで、データ解析のための基本的知識や実経験を学ぶことができ、さらに社会的な業務や研究で必要とされるデータ解析のイメージやその実践方法を体験・習得できます。
234	C50702	実践ミュージアムコミュニケーション学		1	冬	留置事項参照	○	5名程度	●「担当教員からのメッセージ」 「人もの(資料)情報(展示)」が絶えず行き交う「博物館」という現場性を重視し、実習的要素を加味した体験型授業です。文系理系を問わず、博物館に関心を持っている様々な学生の受講を歓迎します。 ●「留意事項」 開講日・時間・場所については、KOANで別途お知らせします。また、授業の一環として、土曜日の午後に実施している博物館の「サイエンスカフェ」を聴講してもらいます。	・プレゼンテーションの技能 ・異なる専門分野の間のコミュニケーション能力 ・市民とのコミュニケーション能力
235	C50801	放射光構造生物学特論A	全学教育推進機構 (総合学術博物館)	2	秋～冬	シラ パス 参照	○	10名	大学教養課程程度の物理化学・生物科学に関する知識をもっていることが望ましい。専門の異なる大学院生でも、基礎生命科学や疾患・創薬などに興味のある場合は、受講を認める。	X線構造解析の装置と原理について理解できます。
236	C50803	蛋白質高次機能特論A		2	春～夏	シラ パス 参照	○	10名	ゲノム生物学、発生生物学の最新の知見を扱うので、それを理解するための、大学学部で取り扱う、分子生物学、化学、タンパク質科学などの基礎的な知識を有していることを必須とする。ただし、C50808 蛋白質解析先端研究特論A(英語コース)との重複受講は認めない。	ゲノム生物学、発生生物学をタンパク質という視点から最新の知見を提供するため、関連分野の基礎知識のみならず、ライフサイエンスにおける当該分野の課題やその思考方法に関し習得できる。場合によっては外国人講師による英語の講義を行うため、英語で関連分野を理解する力を身につけることができる。
237	C50806	高磁場NMR構造解析特論B		2	春～冬	シラ パス 参照	○	10名	大学教養課程程度の物理化学・生物科学に関する知識をもっていることが望ましい。専門の異なる大学院生でも、基礎生命科学や疾患・創薬などに興味のある場合は、受講を認める。	分子構造解析 NMR 分光法について原理を理解して実験法を習得できる。
238	C50808	蛋白質解析先端研究特論A	全学教育推進機構 (蛋白質研究所)	2	春～冬	シラ パス 参照	○	10名	大学教養課程程度の物理化学・生物科学に関する知識をもっていることが望ましい。専門の異なる大学院生でも、基礎生命科学や疾患・創薬などに興味のある場合は、受講を認める。ただし、C50803 蛋白質高次機能特論Aとの重複受講は認めない。 ● This course is for students who are willing to learn the course for protein structures/functions in English since all lecture will be provided in English by foreign guest scientists.	外国人講師による世界の最先端研究を英語で聞くことが出来、さまざまなモノの見方、問題解決能力が身につく。

よくある質問とその回答

Q. 「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」を開始するのに、科目の履修登録の他に、何らかの申請はいらないのですか。

A. 一覧に掲載されている科目を**KOANで履修登録することのみ**が必要です。

Q. 「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目を取ると、卒業・修了要件科目になるのでしょうか。

A. 知のジムナスティックス科目の多くは、他学部・研究科の科目です。修得した単位が卒業・修了要件単位として認められるかどうかは、その科目により、また、所属する学部・研究科により異なりますので、所属の教務担当係で確認してください。

Q. 「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」提供科目のシラバスに記載されている履修条件を見ると、専門知識をもっている者が望ましい、という科目があるのですが、専門外の学生が履修してもいいのでしょうか。

A. 基本的には、「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」提供科目＝他の学部・研究科の学生が履修することが許容されている科目であり、履修の拒否はないと考えられますが、例えば、ある医学系の授業については、ある程度医学の基礎知識を持っている薬学系や歯学系の学生が履修するようなことを想定しているなど、どの程度の専門知識が前提となるかは授業により異なります。一回目の授業に出る、担当教員に質問するなどの手段により、履修できそうか確認してみてください。

Q. 自分が所属する学部・研究科の履修登録期間なのに、履修登録できない科目があるのですが。

A. 登録できない場合は、学部・研究科等の教務担当係にお問い合わせください。
(自分が所属する学部・研究科の履修登録期間であっても、受講を希望する科目の開講学部・研究科等の履修登録期間でないときは、登録できません。)

Q. 「3 年次以上の学部学生」及び「大学院学生」対象科目欄に掲載の全学教育推進機構の科目（学部共通教育科目）を大学院生が履修できないことがあるようなのですが。

A. 全学教育推進機構の科目のうち、学部向けの共通教育科目は、定員を定め、事前に抽選を行っていることがあります。また、原則は学部学生のために開講されている科目であるため、学部学生が優先されるという性格があります。

一部抽選科目の場合、抽選の段階では大学院学生は参加できず、「**抽選後の追加登録時**」に、**定員に空きがあった場合に登録**が可能となる形になっています。

※このほか、情報処理教育科目、基礎セミナーについては、履修登録方法が異なります。詳細は全学教育推進機構のホームページ等を確認してください。

Q. 過去に修得した科目の単位について、「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目として認められるのでしょうか。

A. 修得した年度に「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」科目として提供されている場合は認められます。



大阪大学 全学教育推進機構等事務部 横断教育係

〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-16

TEL: 06-6850-6652

Email: zenkyo-odankyoiku@office.osaka-u.ac.jp

知のジムナスティックス (高度教養プログラム)

他の専門分野の科目及び共通的に学ぶべき科目を履修することにより、社会人として必要なつよさ・しなやかさ・バランス感覚を兼ね備えた知性を養うプログラム。